

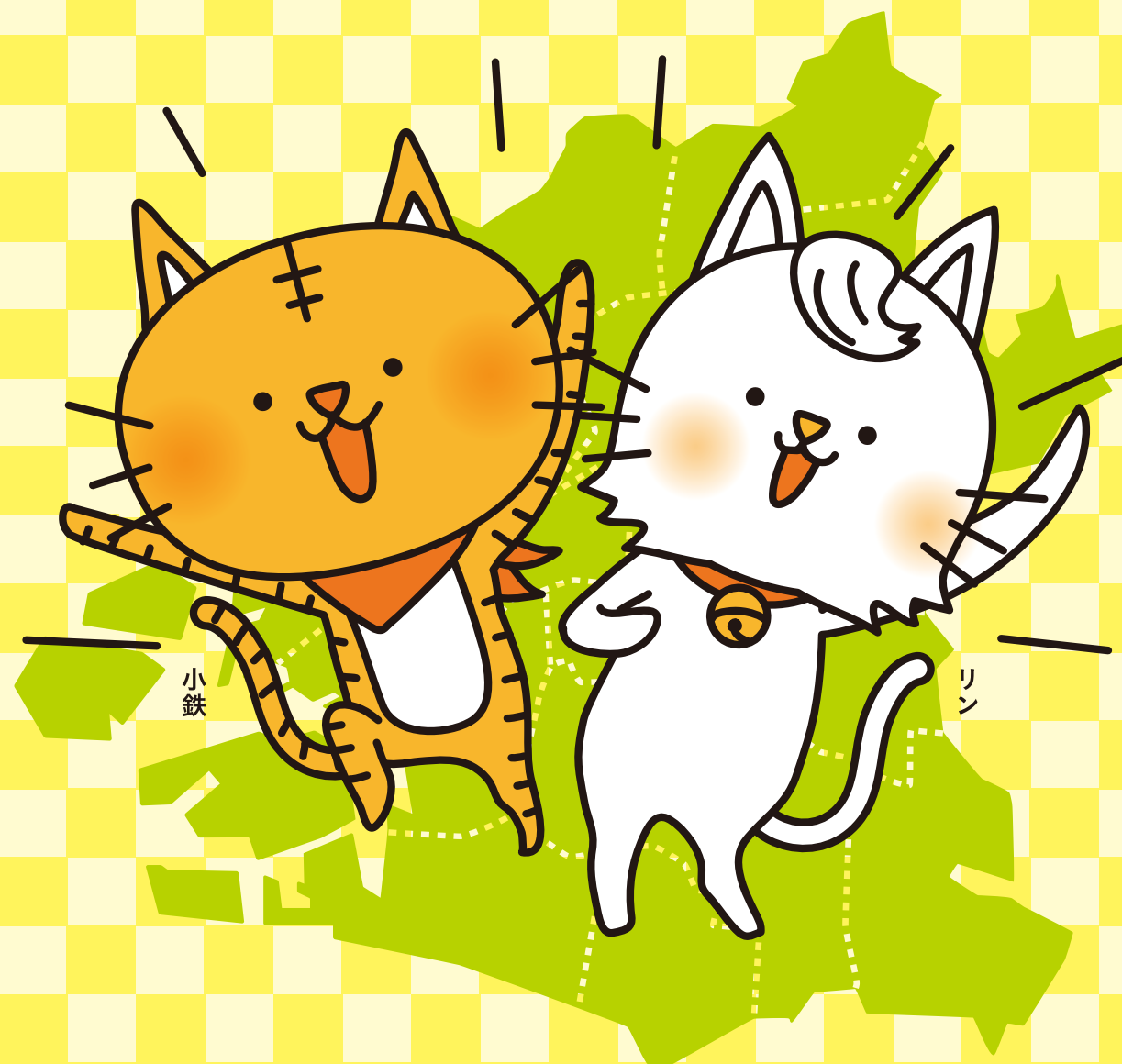


「オール大阪」市民の勝利

2020.11.1 住民投票活動記録集

2020 **11.1**
住民投票活動記録集

「オール大阪」 市民の勝利



「オール大阪」市民の勝利

2020.11.1住民投票活動記録集

2021年 1月 発行

明るい民主大阪府政をつくる会

大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階

TEL 06-6357-5333 FAX 06-6357-5303

E-mail minshu@osaka-akarui.com

大阪市をよくする会

大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階

TEL 06-6357-6139 FAX 06-6357-5303

E-mail yokusurukai@nifty.com

明るい民主大阪府政をつくる会・大阪市をよくする会

2020 11.1
住民投票活動記録集

「オール大阪」 市民の勝利

目次

1 各地の取り組み

12 記録集発刊にあたって

14 開票結果

住民投票の結果——
16 大阪市民の良識と共同による歴史的勝利

——維新政治 激動の10年間——
26 広がる「都構想」反対運動

30 メッセージ

34 明るい会・よくする会の宣伝物

54 他政党、団体、個人などの宣伝物

60 共同闘争ニュース

64 維新の会・公明党の宣伝物

66 投票公報

70 明るい会・よくする会の声明

74 新聞論評

各地の 取り組み 2020



革新懇「大阪市なくすな」宣伝行動



夕暮れ対話集会(平野区)



堺1000人委員会が大阪市内で
住民投票宣伝



10月10日の御堂筋パレード



明るい会・よくする会、住民投票告示日出発式



明るい会・よくする会団体地域活動者会議



対話・トーク宣伝(住吉区)



「大阪府廃止に反対」のプラカードを掲げる人たち



明るい会・よくする会共同記者会見



大阪医療問題連絡会のコロナ対策要望書提出と記者会見



「都制度」は戦争遂行のために始まった。再来を許さないと意見表明する学者ら



なくしたらあかん大阪市アピール会見・大阪市北区



「大阪都構想」の危険性・学者記者会見



おんな・こどもをなめんなよの会「都構想」反対集会



中央区での大阪市廃止問題・平松邦夫さんと語るつどい



此花区での街角説明会



西淀川区都構想反対「区民のつどい」



新婦人「大阪市」なくしたらあかん!!「都構想」NO!宣伝



生野区連合振興町会長らと町会有志・女性部練り歩き



「住民投票よりコロナ対策を」街頭宣伝(福島区)



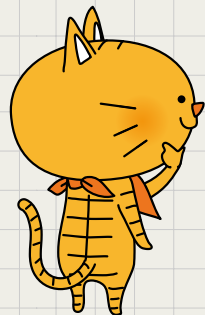
よくする会西区民のつどい



大阪市なくすな環状線宣伝



心はひとつ大阪市なくすな!
10.1ネットワーク集会



堺サテライト会場



府内の会場とネットワークで結ぶ



報告する山中智子大阪市議



明るい会・よくする会が「218億円」コスト増問題で会見



平野区の街角トーク



よくする会告示日宣伝(九条駅前)



住民投票告示日からの折り返しにあたって両会合同記者会見



「残そう、大阪」街頭演説



住民投票勝利・市民と野党の共同街頭演説(大阪駅前)



SOCs宣伝(天神橋筋六丁目)



市民有志「大阪のための緊急会議」



住民投票最終日・西淀川区内練り歩き



御堂筋パレード



大型ビジョンカー大阪城公園前宣伝



日刊ピラ最終号宣伝(西区)



住民投票最終日・中央区役所前宣伝



「大阪市廃止」否決の瞬間



「反対多数確実」の速報が流れた瞬間



「大阪・市民交流会」の人たちもVサイン(中央区)



「大阪市廃止」否決の瞬間

記録集発刊に あたって

明るい民主大阪府政をつくる会・大阪市をよくする会
共同闘争本部事務局長

大原 真



2度目の「住民投票」は前回以上のアドバンテージが維新の側にありました。しかし、結果は前回以上の差をつけて「都構想」は否決されたのです。

維新は5年前の「住民投票」で“橋下人気”を背景に4,000億円の財政効果があるとうそぶき「都構想」実現を訴えました。しかし、「大阪市をなくすな」の一点で共同した広範な市民の運動の前に維新の目論見は破綻しました。私たちは勝利の要因を「3つの力」(論戦の力、共同の力、草の根の力)として総括しました。

今回維新は、2019年の統一地方選挙の勝利を背景に、「ラストチャンス」とした看板を投げ捨て2度目の「住民投票」を用意周到に準備し強行しました。まず、公明党を「密約の暴露」と「選挙で対立候補を立てる」との恫喝で屈服させ、自民党府議団の一部の動揺も誘い、法定協議会を動かしました。新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか吉村知事が「大阪モデル」などを打ち出し、連日テレビへの露出度を高め“吉村人気”を作り上げました。国のコロナ対策のまずさもあって好感度が高まり、5月には「最も評価する政治家」のトップに維新・吉村知事が上がりました。(5月6日毎日新聞)こうした背景のもと維新は、コロナ禍であっても「住民投票」実施のための準備を着々と進めました。

「都構想」反対派の中でも「吉村人気のもとで勝てるのか?」と危惧する声もあり、事実9月の世論調査(ABCテレビ、JX通信社)では「都構想」賛成49.1%、反対35.3%とほぼ14ポイントの差をつけられ、彼らの目論見がこの時点では効果を生んでいました。加えて、4億円とも伝えられる潤沢な資金でテレビCMや新聞折込みを連打するとともに、前回と違い副首都推進局を軸に市政を私物化し、「住民説明会」や「協定書説明パンフ」、「大阪市広報」は推進一色で、「都構想」実現でバラ色の大阪市を描き出しました。

維新の会は自らの組織とお金、屈服した公明党、私物化した行政組織、そして在阪テレビ局を中心としたメディアなどをフル活用して、コロナ禍であっても「静かな住民投票」(低投票率)で一気に野望達成を試みました。

これほどまでに用意周到な準備と計画を練り上げ実施したにも関わらず、彼らが敗北した要因はまさに「市民の力」を読み違えたことです。

「明るい会」「よくする会」の構成員の中にも“吉村人気”はあるが、コロナ禍のもとで2度目の住民投票は絶対許せないとの怒りは蓄積していました。「協定書」を可決する9月3日の大阪市会に向けて酷暑とコロナ禍のもとでも4万3千筆を超える署名が提出され、夜には「明るい会」「よくする会」合同の代表者会議を開催、100万対話や

5万回スポットを提起し、翌日には50名での市役所前宣伝を機敏に展開しました。こうした動きはメディアも取り上げ「静かな住民投票」では済まされない世論を形成する第一歩となりました。

それだけではありません。5年前に大阪市を守った市井の人々のエネルギーは蓄積され、当たり前のように自らがビラをまき、訴えました。“なにわの市民革命”“路地裏が主戦場”のたたかいが5年前を上回るスピードと広がりを見せ、「近所で配るからビラをくれ」「俺にも話をさせて」と飛び入りでマイクを握る人など、駅頭でスーパー前で路地裏で対話と行動参加が広がり、連帯と共感の輪が形作られました。これに呼応した学者や研究者、文化人やメディアの関係者などそれぞれの立場で声明やバナー、SNSを使った発信など多様で重層的な共同が広がりました。組織としても個人としても一人ひとりが自分の歩幅で行動し、気持ちいい共同でした。政党も奮闘し、行政の中でも市選管が「大阪市廃止の住民投票」と言い切り、財政局も「基準財政需要額が218億円増加」と発表し、行政としての矜持を保ちました。

また、「都構想」になれば全てバラ色と描く維新の宣伝にうさん臭さを感じ、押しつけでなく、「なんとなく賛成」や「迷っている」人との丁寧な対話が大きな力を発揮しました。こうした路地裏などでの地道な対話が、維新による金と権力にまかせた推進キャンペーンや新聞折込の連打に対抗して勝利した重要な要因の一つです。

市民グループ「残そう、大阪」の石川愛さんは「5年前は特に何もなかったが、今回は路上に出た。何となく賛成だった人と対話になるたびに、よくぞ聞いてくれた!と思った」と語っています。

この思いはきっと多くの人が共有しています。この財産が維新政治を終わらせ、新しい大阪をつくるたたかいに繋がることを確信し発刊の言葉とします。



大阪市における特別区の設置についての 投票の開票結果（2020年11月1日）

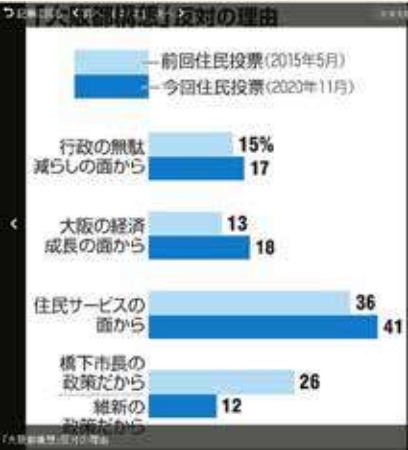
区名	当日有権者(人)			投票者数(人)			投票率(%)			賛成票 (%)	反対票 (%)	賛成率 (%)	反対率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
大阪市計	1,057,668	1,148,062	2,205,730	637,235	738,078	1,375,313	60.25	64.29	62.35	675,829	692,996	49.37	50.63
北 区	52,285	56,629	108,914	31,940	36,239	68,179	61.09	63.99	62.60	38,207	29,689	56.27	43.73
都島区	40,725	45,607	86,332	26,121	30,652	56,773	64.14	67.21	65.76	29,758	26,805	52.61	47.39
福島区	29,769	33,801	63,570	18,899	22,286	41,185	63.49	65.93	64.79	22,017	19,007	53.67	46.33
此花区	26,346	27,956	54,302	15,739	18,031	33,770	59.74	64.50	62.19	15,741	17,866	46.84	53.16
中央区	37,964	43,981	81,945	21,893	26,905	48,798	57.67	61.17	59.55	24,766	23,814	50.98	49.02
西 区	37,922	44,210	82,132	22,588	27,487	50,075	59.56	62.17	60.97	26,824	23,026	53.81	46.19
港 区	32,378	34,299	66,677	20,089	23,119	43,208	62.05	67.40	64.80	18,491	24,527	42.98	57.02
大正区	26,395	27,663	54,058	16,030	18,304	34,334	60.73	66.17	63.51	15,911	18,278	46.54	53.46
天王寺区	27,519	33,399	60,918	18,836	23,253	42,089	68.45	69.62	69.09	20,042	21,853	47.84	52.16
浪速区	27,420	26,185	53,605	12,796	13,020	25,816	46.67	49.72	48.16	13,294	12,435	51.67	48.33
西淀川区	38,537	40,089	78,626	22,858	25,872	48,730	59.31	64.54	61.98	22,971	25,511	47.38	52.62
淀川区	72,720	75,207	147,927	41,247	45,286	86,533	56.72	60.22	58.50	47,415	38,688	55.07	44.93
東淀川区	69,922	72,610	142,532	38,614	43,031	81,645	55.22	59.26	57.28	40,862	40,375	50.30	49.70
東成区	30,943	34,785	65,728	19,372	22,699	42,071	62.61	65.26	64.01	20,771	21,102	49.60	50.40
生野区	40,938	44,442	85,380	23,393	27,068	50,461	57.14	60.91	59.10	24,142	26,085	48.07	51.93
旭 区	35,736	39,801	75,537	22,710	26,537	49,247	63.55	66.67	65.20	23,123	25,894	47.17	52.83
城東区	65,484	73,707	139,191	43,042	50,472	93,514	65.73	68.48	67.18	46,976	46,121	50.46	49.54
鶴見区	42,192	47,810	90,002	26,803	31,889	58,692	63.53	66.70	65.21	29,842	28,555	51.10	48.90
阿倍野区	40,523	49,016	89,539	28,421	35,279	63,700	70.14	71.97	71.14	28,578	34,814	45.08	54.92
住之江区	47,792	52,362	100,154	29,586	34,719	64,305	61.91	66.31	64.21	31,150	32,838	48.68	51.32
住吉区	58,341	67,832	126,173	36,557	44,366	80,923	62.66	65.41	64.14	36,242	44,287	45.00	55.00
東住吉区	51,210	57,844	109,054	31,550	37,298	68,848	61.61	64.48	63.13	32,404	36,098	47.30	52.70
平野区	74,204	83,863	158,067	43,678	53,079	96,757	58.86	63.29	61.21	43,930	52,307	45.65	54.35
西成区	50,403	34,964	85,367	24,473	21,187	45,660	48.55	60.60	53.49	22,372	23,021	49.29	50.71

2015年住民投票と2020年住民投票 得票比較

区名	有権者数			投票者数			投票率(%)			票差			賛成率(%)		反対率(%)		
	2015	2020	増減	2015	2020	増減	2015	2020	増減	2015	2020	増減	2015	2020	2015	2020	増減
大阪市計	2,104,076	2,205,730	101,654	1,406,084	1,375,313	-30,771	66.83	62.35	-4.48	-10,741	-17,167	-6,426	49.62	49.37	50.38	50.63	0.25
北 区	94,128	108,914	14,786	61,248	68,179	6,931	65.07	62.6	-2.47	11,018	8,518	-2,500	59.00	56.27	41.00	43.73	2.73
都島区	82,237	86,332	4,095	57,011	56,773	-238	69.33	65.76	-3.57	3,464	2,953	-511	53.00	52.61	47.00	47.39	0.39
福島区	56,798	63,570	6,772	38,984	41,185	2,201	68.64	64.79	-3.85	4,319	3,010	-1,309	55.60	53.67	44.40	46.33	1.93
此花区	54,470	54,302	-168	36,606	33,770	-2,836	67.20	62.19	-5.01	-1,275	-2,125	-850	48.30	46.84	51.70	53.16	1.46
中央区	71,819	81,945	10,126	45,157	48,798	3,641	62.88	59.55	-3.33	3,679	952	-2,727	54.10	50.98	45.90	49.02	3.12
西 区	70,287	82,132	11,845	45,416	50,075	4,659	64.62	60.97	-3.65	6,934	3,798	-3,136	57.70	53.81	42.30	46.19	3.89
港 区	66,673	66,677	4	44,933	43,208	-1,725	67.39	64.80	-2.59	-1,941	-6,036	-4,095	47.80	42.98	52.20	57.02	4.82
大正区	55,159	54,058	-1,101	37,988	34,334	-3,654	68.87	63.51	-5.36	-4,565	-2,367	2,198	44.00	46.54	56.00	53.46	-2.54
天王寺区	54,774	60,918	6,144	39,316	42,089	2,773	71.78	69.09	-2.69	-2,488	-1,811	677	46.80	47.84	53.20	52.16	-1.04
浪速区	48,936	53,605	4,669	25,850	25,816	-34	52.82	48.16	-4.66	1,374	859	-515	52.70	51.67	47.30	48.33	1.03
西淀川区	75,827	78,626	2,799	52,186	48,730	-3,456	68.82	61.98	-6.84	-4,667	-2,540	2,127	45.50	47.38	54.50	52.62	-1.88
淀川区	138,515	147,927	9,412	87,848	86,533	-1,315	63.42	58.50	-4.92	9,663	8,727	-936	55.50	55.07	44.50	44.93	0.43
東淀川区	136,353	142,532	6,179	85,064	81,645	-3,419	62.39	57.28	-5.11	2,048	487	-1,561	51.20	50.30	48.80	49.70	0.90
東成区	61,085	65,728	4,643	41,550	42,071	521	68.02	64.01	-4.01	22	-331	-353	50.00	49.60	50.00	50.40	0.40
生野区	83,886	85,380	1,494	54,822	50,461	-4,361	65.35	59.10	-6.25	-3,794	-1,943	1,851	46.50	48.07	53.50	51.93	-1.57
旭 区	74,371	75,537	1,166	51,402	49,247	-2,155	69.12	65.20	-3.92	-4,903	-2,771	2,132	45.20	47.17	54.80	52.83	-1.97
城東区	132,091	139,191	7,100	92,850	93,514	664	70.29	67.18	-3.11	944	855	-89	50.50	50.46	49.50	49.54	0.04
鶴見区	85,852	90,002	4,150	59,833	58,692	-1,141	69.69	65.21	-4.48	107	1,287	1,180	50.10	51.10	49.90	48.90	-1.00
阿倍野区	85,354	89,539	4,185	63,134	63,700	566	73.97	71.14	-2.83	-2,012	-6,236	-4,224	48.40	45.08	51.60	54.92	3.32
住之江区	100,867	100,154	-713	70,314	64,305	-6,009	69.71	64.21	-5.50	-3,696	-1,688	2,008	47.40	48.68	52.60	51.32	-1.28
住吉区	123,549	126,173	2,624	84,946	80,923	-4,023	68.75	64.14	-4.61	-7,327	-8,045	-718	45.70	45.00	54.30	55.00	0.70
東住吉区	105,456	109,054	3,598	71,764	68,848	-2,916	68.05	63.13	-4.92	-3,243	-3,694	-451	47.70	47.30	52.30	52.70	0.40
平野区	155,527	158,067	2,540	103,518	96,757	-6,761	66.56	61.21	-5.35	-10,887	-8,377	2,510	44.70	45.65	55.30	54.35	-0.95
西成区	90,062	85,367	-4,695	54,344	45,660	-8,684	60.34	53.49	-6.85	-3,515	-649	2,866	46.80	49.29	53.20	50.71	-2.49

出口調査結果より

■「大阪都構想」反対の理由



■大阪住民投票調査



■賛成・反対の推移と理由





住民投票の結果

大阪市民の良識と共同による歴史的勝利

「大阪市廃止・特別区設置」の是非を問う2度目の住民投票が、2020年11月1日に行われました。

賛成67万5829票(得票率49.37%)

反対69万2996票(得票率50.63%)

(投票総数137万5313票 投票率62.35%)

反対票が1万7167票上回り、再び大阪市廃止＝「都構想」を否決する歴史的結果となりました。前回2015年と比べ、東成区が新たに反対多数となり、「賛成多数」となった行政区でも、多くの行政区で前回よりも反対が得票率をあげ、賛成に迫りました。

午後10時43分、NHKが「反対確実」テロップを流した瞬間、「明るい民主大阪府政をつくる会」「大阪市をよくする会」が共同で設けた開票記者会見場では大きな歓声があがり、喜びの涙と笑顔に包まれました。荒田功・福井朗両会事務局長は、「大阪を愛する市民の気持ちがこうして一つの結果を生んだことは、明日の大阪をつくっていく大きな希望につながる」と勝利声明をのべ、山中智子日本共産党大阪市議団長は「これで本当にノーサイドにして、賛成を投じたみなさんを含め、暮らしを守る自

治体にもどし、『大阪市を残してよかった』といえるようにスタートしたい」と語りました。

この勝利は、何よりも「大阪市民の良識の力」「共同の力」が発揮されたものにほかなりません。

両会の構成団体、地域連絡会からも、「会の宣伝・対話が、諸団体や市民を励まし、また私たちも励まされ、共鳴が広がるたたかいでした」「力関係で言えば、有利な闘いではなかったが、コロナ禍で政治がはたすべき役割とは何かを市民に問いかけ、『都構想』の本質と大阪市の権限・財源をいかした『市民のための政治の実現』を呼びかけ続け、手応えを得た」などたくさんの感想が寄せられています。

「明るい会」「よくする会」のすべての構成員のみなさん、ともに立ち上がった広範な市民団体、市民のみなさん、各界著名人の方々、府内はもとより近畿・全国各地からの支援者のみなさん、すべての奮闘が結実した歴史的勝利でした。改めて心からの感謝と敬意を表します。

この大阪の勝利は、安倍・菅政権で最悪の補完勢力ぶりを示す維新に痛打を与えるものとして、全国的にも大きな反響を呼びました。

「共同闘争本部」として

2019年のダブル選挙後、公明党の屈服などによって再び住民投票が必至となるなかで、「明るい会」「よくする会」は2019年、「都構想ノー!豊かな大阪をつくる11・27府民のつどい」(エル・シアター)を開きました。12月9日には両会合同の団体・地域連絡会代表者会議を開催。また両会による「共同闘争本部」を本格的に再開し、維新がすすめるカジノ誘致に反対する活動と一体に、「カジノ反対で維新を包囲し、住民投票で政治的決着を」と、毎月の「宣伝ゾーン」の提起や両会が発行した「未来パンフ」の配布、学習などの活動をすすめてきました。

2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染が拡大するなかで、私たちの活動も困難を伴いました。ところが、維新府・市政はコロナ禍にかかわらず「法定協議会」の開催を重ね、

「協定書」を議決しました。私たちは、「住民投票より、コロナ対策を」と声をあげましたが、8月28日に府議会で、9月3日には大阪市議会で採決を強行し、維新・公明の多数で可決。11月1日の住民投票実施が決まりました。

私たちは、7月に「私たちが『住民投票』に反対するのは、コロナ禍から命とくらしを守り、より良い大阪をつくるためです」と打ち出した「大阪市をよくする会」機関紙を全戸配布し、「大阪市を廃止する『協定書』の採決を止め、コロナ対策に全力を!」の陳情署名運動を呼びかけるなどの運動を広げました。

また両会合同の団体・地域代表者会議は9月3日、10月12日、最終盤の10月26日には両会活動者会議としてエル・シアターで開き、住民投票をたたかう構えと方針を確立して全力をあげました。

両会の提起を受けて、各地域・団体では「毎週火曜日を結集・作戦会議とし、大小



よくする会・明るい会合同団体・地域連絡会代表者会議(10月12日)

の学習会を25回開くとともに9月には平松邦夫元大阪市長とともに考え、語る会を開催。区独自の自治体学校では『子どもの成長と大阪の未来』をテーマに若いママ、パパを対象に取り組み39名が参加した」「大学学習集会を8月1日に開催し、9月に団体・地域代表者会議で住民投票に向け、『基本的な考え方と構え』『運動の目標と方針』『地域センター配置と任務分担』などを意思統一した」など臨戦態勢を固めていきました。

10月1日に開催した「大阪市なくすな 心はひとつネットワーク集会」は大阪市中央公会堂をメイン会場にし、8カ所のサテライト会場を府内に設けて開催。ここには小西禎一元府副知事、平松元大阪市長、尾辻かな子・立憲民主党衆院議員、長崎由美子・社民党府連代表、日本共産党の清水ただし衆院議員、山中智子市議団長もかけつけ、両会と市民団体、立憲野党、市民が一つにつながる集会となりました。

「共同闘争本部」として臨時事務所を大阪グリーン会館に構え、組織運動、政策宣伝、総務などの常駐体制づくりに力を入れました。こうして、大阪市内24行政区連絡会と構成諸団体、府内の連絡会が一つになって、運動を進める体制をきずきました。

おごる維新vs市民の良識のたたかい

住民投票でもっとも際立ったのは、「大勝」をもくろみ、驕る松井市長、吉村知事に維新にたいして、「大阪市をなくしてはならない」という市民の声が高まり、政治的立場を越えた共同が日増しに広がったことでした。

「投票所前で女性が手書きの『大阪市をなくさないください』ポスターをかがげて立っていた」「日刊ビラ宣伝の際、一人の青年が『この

原稿を読んで下さい』とやってきた。ハンドマイクで紹介すると、『スッキリしました。一人ではハンドマイクでしゃべれないので』と感想を語った」「天王寺在住の元大学教授がチラシを配りたいと連絡され、ご夫婦でビラまきをしてくれた。別の男性がビラまきを手伝いたいと2000枚のビラを持ち帰りマンションに入れてくれた」「毎日がドラマティックであった。ある女性は『この町が好きだ』と手書きのチラシを作成し、配って歩いた。徹底して市民を信頼し、市民が動くたたかいをと一丸となって、『反対』表明した市民に『チラシ5枚セット』を渡し、配布依頼した」——こうした光景は、どの行政区でも見られました。

維新は、2019年のダブル選挙での「大勝」後、一つは、公明党に態度を豹変させ、野合すること、いま一つは、市役所をまるごと「維新出張所」であるかのように私物化し、「市役所ぐるみ」の体制をとるなかで、住民投票での「大勝」をもくろみました。

しかし、これらは逆に、大きな墓穴を掘りました。

「維新・公明野合」がもたらした矛盾

「維新・公明野合」は、議会の数の上で多数を占めたものの、大きな矛盾とあつれきを招きました。「法定協議会」では公明の要求を丸呑みしたために、「前回からのバージョンアップ」どころか、破たんがあらわなものになりました。「住民サービス」をめぐるのは公明党の言い分で「特別区設置時点ではいまのサービスを維持」「その後は努める」と「協定書」に書きましたが、その財源保障は何もないことや「住民サービス向上」は書き込めなかった姿がさらけだされました。また「自治体の体」をなさない「中之島合同庁舎」案——「特別区」それぞれの新庁舎を建てず、現大阪市役所に間借りすると

いうもの。その自治体エリアに庁舎がないのは日本では離島以外にない——も、「維新・公明合作」の悪しき象徴でした。

また維新は公明の助けを借りるもとで、これまで得意になってすすめてきた「反対勢力は野合」などの批判はすっかり影を潜めました。

前回も反対していた公明党の豹変に、支持層の反発は大きく、維新は山口公明党代表の来阪を要請し、合同街宣などをすすめたが、あつれきは逆に大きくなり、住民投票では、公明党支持層の半数以上が「反対」に投じました。

市役所ぐるみへの大きな批判

「市役所ぐるみ」も同様です。

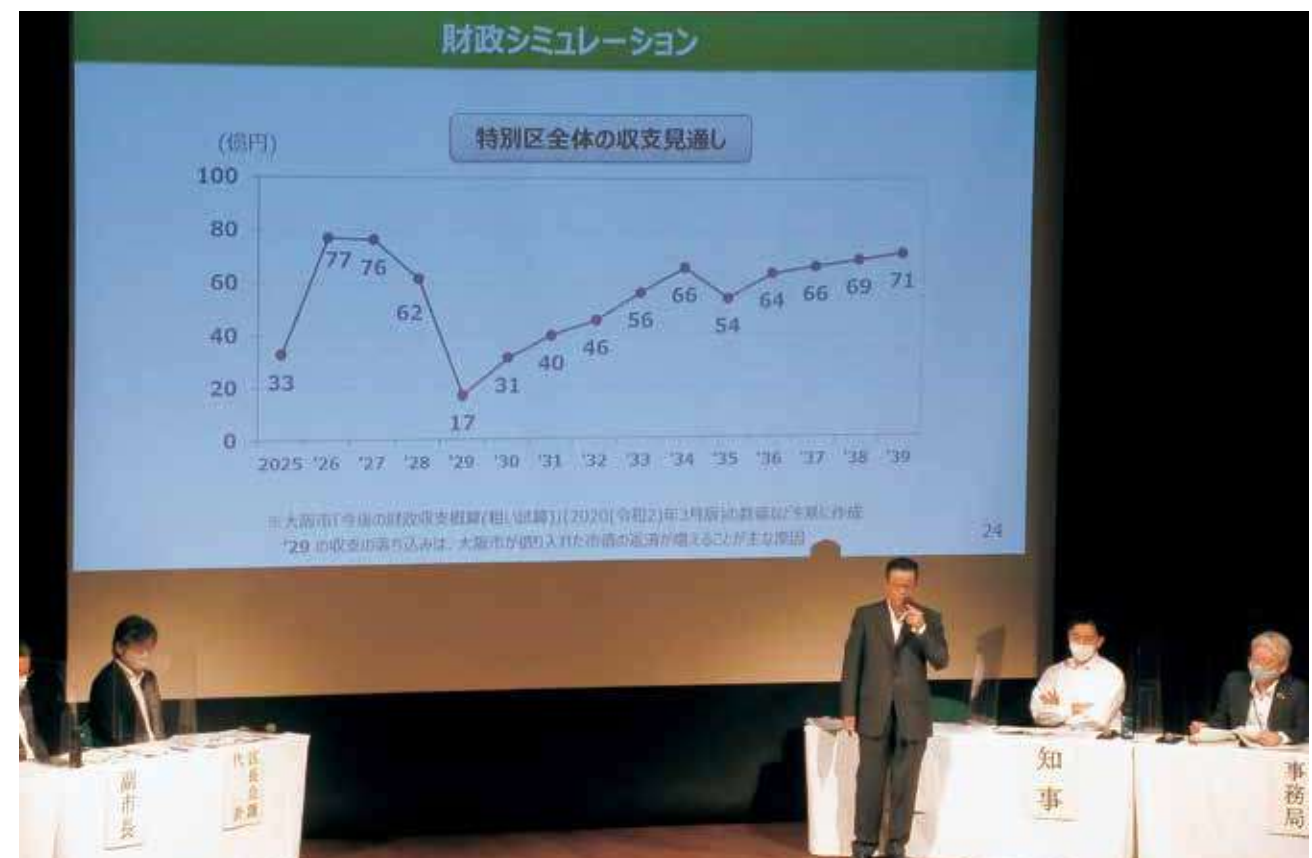
前回も30数回実施された「住民投票説明会」は4回に限定され、中身は推進派の主張一辺倒で、前回には配布された「法定協議会における反対意見」などの資料は一切配られ

ませんでした。大阪市発行による数十ページにのぼる「説明パンフレット」は維新の主張をそのまま紹介するものでした。

さらに維新は告示前には、「反対派」の主張はすべて「デマ」として、「質問はこちらへ」と大阪府市副首都推進局の電話番号を大書してビラにのせました。大阪市立保育所で維新の全面広告が掲載された広報誌を無料配布し、あわてて「回収指示」がだされたり、副首都推進局職員が、市の動画編集は「賛成に誘導する」ためと口走る一コマもありました。

「明るい会」「よくする会」は、これらは行政の中立性を侵し、大阪市役所を「維新の中之島出張所」にし、府市職員を「維新の奉仕者」にするものだとして副首都推進局にも申し入れ、2回の記者会見で厳しく抗議、批判しました。

しかし、街頭でも「反対派の宣伝はすべてデマ」と叫ぶ維新の姿は、市民の異論や批判を排除する独善と強権の体質をさらけだしました。



「特別区設置協定書」住民説明会〔第1回〕(9月26日)

「維新の『メリットしかない』という宣伝に、市民は『世の中、メリットしかないものなど存在しない。何か胡散臭い』と感じ始め、『反対派の意見を聞いてみよう』となった。この変化をとらえて、情報提供に徹したことは功を奏した」と現場から報告が寄せられています。

最終盤、大阪市財政局が「大阪市を4つに分割すると、国からの地方交付税が218億円不足する」とする試算を示し、メディアが大きく報道すると、松井市長らが狼狽し、「メディアの誘導」「財政局長の捏造」だと激しいバッシングをあげました。これまで隠し続けた数字が明るみにでたことに加え、逆ギレしてパワハラまがいのバッシングを行う光景に、若い層などから大きな反発を招きました。

市民の良識が維新を追いつめ、打ち破る流れは世論調査にも現れました。9月下旬の世論調査では、賛成・反対の差が最大14ポイントありました。それが10月上旬には約3ポイント差までに縮まり、10月下旬には文字通り拮抗する状況にまで追い上げ、最後の最後に逆転しました。



よくする会・明るい会「大阪府は、住民投票の公正・公平を確保せよ！」緊急記者会見（10月16日）

論戦の力—— 真実の情報を伝え続けて

「明るい会」「よくする会」の活動は、市民の良識と行動を後押しし、共同を広げ、維新を追いつめるうえで大きな役割を発揮しました。住民投票の論戦では、市民の良識をリスペクト

し、「反対」を押しつけるのではなく、「情報提供型」の宣伝に徹しました。また、大阪市の権限・財源を活かしてこそできる前向きな提案を示し、維新政治とは異なる「もう一つの選択肢」を示すことを重視しました。

各地から、次のような報告が寄せられます。
——「これほど変化を感じる選挙はなかった」という感想が多く寄せられている。「近所に配るのでもっとビラをください」という方が何人も生まれ、公明党支持者でも気持ちのよい対話になるなどの経験は今までになかった。「反対」と訴えるだけでなく、「わからない」「考えたい」「よく知りたい」という思いにこたえた活動が共感を生んだ。

——維新の横暴勝手が激しかったが、それに対する反論ではなく「事実を情報として提供し対話する」というこちらの方針が、重要な局面を切り拓いた。

——情報提供という角度での宣伝・対話が、正確な情報を求める有権者の思いとかがみあった。対話の中で「賛成」や「よくわからない」が「反対」に変わった経験も多く生まれた。

論戦では、次の3つの焦点がクッキリと浮かび上がりました。

- ①大阪市の廃止か、130年の歴史を持つ大阪市の存続か。
- ②権限・財源を奪われ住民サービスの低下か、大阪市の力を生かした拡充か。
- ③コロナ禍でもカジノ・インバウンド頼みか、いのちと暮らし最優先に転換するのか。

「大阪市の廃止」問題は、今回は投票用紙にも「大阪市廃止・特別区設置の住民投票」と明記され、選管の啓発ポスターなどでも徹底されました。

維新の松井代表は、なお「大阪市の廃止」を口ごもっていましたが、昨年のダブル選でみせた「大阪市が廃止されるというが、この目の前のナンバの広場はなくなる」と陳腐な



ラストサンデー宣伝（10月25日）

「反論」はできなくなりました。

「会」は、のぼりやプラスターはもとより、あらゆる宣伝物で「大阪市をなくすな」とつきだし、「日刊ビラ」には、毎回「大阪市今昔物語」もいれて、大きなキャンペーンをはりました。

「住民サービス低下」問題では、当初、維新は「いまのサービスを特別区でも維持する」と宣伝しましたが、「協定書」にあるのは「特別区設置時（2025年1月1日）は維持」「その後は、維持に努める」とあるだけでした。

両会が発行した「まるわかりパンフ」では、①特別区は財源を府に吸い上げられる、②設置コストに1,300億円かかる、③分割によって地方交付税が200億円減らされ、不足する。住民サービスは削らざるを得ない——ことを打ち出していました。これは「まるわかりパンフの大量活用は良かった。全体として大事なメッセージを伝えられた」「『1,000部のまるわかりパンフがほしい』と訪ねてきた方がいた」と好評でした。

批判におされた維新は、告示後にわかに「住

民投票公報」で「住民サービスの充実へ」といだし、ポスターやビラでは「ぐ〜んとUP」などと宣伝しました。

しかし、今度は、その財源がテレビ討論などで大きな焦点になりました。

維新の反論の1つは「設置コスト1,300億円」というが、つくらないといっている「新庁舎分」を盛り込んでいるのではないかというものでした。しかし、法定協議会での議論では、つくらないのは特別区設置時点であり、「中之島合同庁舎」のひどさから、公明党が「将来は必要」とのべ、法定協議会の会長まとめなどで「区長・区議会を拘束しない」こと、その費用負担のルールまで決めていたことを明らかにしてきたのです。

2つは、「地方交付税200億円不足」問題で、松井市長らはその試算を隠し続けていました。しかし、市財政局が大阪市を4分割したなら「218億円」と試算をだしたことを10月26日に「毎日」が報道、一気に明るみに出まし



投票日 区役所前スタンディング



住民投票ましかどトーク

た。維新は国会でも「毎日の大誤報」と呼び、「市財政局長の『捏造』」と「反撃」しましたが、かつては法定協議会で知事・市長が「200～800億円」の数字をだしていました。市長の責任は不問にしたまま、メディアと財政局長を批判するやり方に大きな批判が生まれ、墓穴を掘りました。

両会は、10月30日に「住民サービス問題をめぐる論戦と維新による異常事態について」の緊急記者会見もおこない、「日刊ビラ」最終号はこの問題の特集して40万枚発行するなど、イ

ンパクトがある宣伝をすすめました。この問題は、街頭でも、市民が「基準財政需要額がね…」と専門用語も使いながら対話をするなど、大きな話題になりました。

「成長戦略」問題は、コロナ問題もあり、維新が昨春のダブル選まで叫んでいた「大阪の成長を止めるな」は言えなくなりました。代わりにだしてきたのが「嘉悦学園」試算「10年間で1.1兆円効果」でしたが、まゆつばぶりが際立ちました。

両会は、カジノ頼み、インバウンド頼みの「成長戦略」の転換を強くおししました。同時に、批判にとどめず、前向き提案の展開として、「まるわかりパンフ」では、『『特別区』設置コスト1,300億円を別につかえば』として、「子ども医療費窓口負担ゼロ」や「介護保険料引き下げ」「30人学級」の道が開けることをうちだしました。最終盤のビラでは「ホップ・ステップ・ジャンプ」として、①コスト「1,300億円」の活用、②大阪市が本来もつ財政力の発揮——90年



テレビ討論(上)中／朝日放送テレビキャスト(下)／MBS(ミント)！

代のバブル期の巨大開発の債務もほぼ返還。新たなムダをやめれば、大きな力に。③さらに安心の社会保障、教育、防災などへの税金投入で経済効果、とまとめてうちだしました。

住民投票では、10回のテレビ討論がかわされました。また大阪青年会議所や「ニコニコ生動画」、ABCネットなどでも討論会がありました。テレビ討論では「賛成派の松井市長+公明vs反対派の自+共」の構図でした。市民を二分する「反対派」の代表として山中智子市議が論陣をはりました。これには「見ている人も多かった。都構想の問題点、協定書に対する疑問もよく分かったのではないか」「見た人から『中味も取り上げ方も良かった』『次回も楽しみ。みんな見て』と反応があった。みんなを励ました」「松井市長と公明党の横柄な態度が視聴者によくわかったのではないか」などの感想が寄せられました。

連日発行された「政策宣伝ニュース」も日々の論戦の進展や対話のポイントをズバリと示していきました。

草の根の力を発揮して

草の根の力を発揮した宣伝・組織活動では、両会が結集を取り始めた9月初めから、各地域連絡会と団体を合わせて、①行動者はのべ約7万人、②約45万市民と対話、③スポット宣伝は約5万8千回、④学習会などは約3,500回(参加総数21,000人)となっています。

とくに宣伝戦では、8ページだての「住民投票まるわかりパンフ」を140万枚発行したのをはじめ、9種類の全戸配布ビラや分野別ビラ、新聞折り込み、14日間にわたって展開した「日刊ビラ」など、総数は800万枚近くになり、構成団体が独自に配布したビラを加えると1,000万枚を超える規模になりました。

なかでも「日刊ビラ」(日刊つろう未来 OS AKA CITY)は、告示翌日の10月13日から平日の14日間、約100カ所の駅頭などで「日替わりビラ」を配布する作戦でした。

「同じ場所、同じ時間帯の宣伝は、訪れる人をつくり、積極的な支持表明と市民の参加を促した」「日刊ビラは大型宣伝カーにない力を持っている、勝利に導く導火線。配る側も、受け取る側も楽しかった。日を重ねるごとにどんどん受け取りがよくなった。大阪の歴史コーナーがよかった。130年の歴史と重み感じた。壊させないぞと思った」「配り手に『毎日が楽しみ』と言わせる内容で非常に良かった」などの感想がでています。

SNSを広く活用し、両会のHPに「特設サイト」を設置し、10本以上の動画、15人の著名人のバナーを作成しました。また、11種類のプラスター、のぼり4種類、ポテッカーなど、目に見え、対話ができる宣伝物を作成しました。「ポテッカーは、ゼッケンにしたり自転車に取り付けたりして活用。住人から分かりやすいと高評価だった」と語られています。

組織戦では、「100万人対話」運動を中心に

据えました。スポット宣伝やビラまき、駅前やスーパー、そして路地裏で「対話」が広がりました。「大阪市がなくなる」「政令市大阪市の権限と財源が府に吸い上げられ、住民サービスは低下する」など「都構想」の本質を伝え続けました。

各地域でも「地域及び新婦人の合同で『空堀商店街』空き店舗を3日間連続借り切って『からほりサロン』に取り組み、シール投票、対話宣伝などを展開しました。800人以上の人と対話したのは圧巻」「地域独自にポスターをつくり1,000枚張り出しに取り組みました。『1回の宣伝で18枚を持って帰ってもらえた』と、大きな反響をよんだ」「区独自のビラをつくったら好評で、全戸配布しようとなってすすめた」などの活動がすすめられました。

投票日当日は、365カ所の投票所前でスタンディングや宣伝カーを走らせました。電話による棄権防止活動、知人・友人・つながり、地域を回り投票を呼びかけました。

共同の力—— 市民とともに

両会の奮闘とともに、「大阪市廃止反対」の市民共同が大きく拡がりました。10・1ネットワーク集会での各界からのエールに続いて、200人を超える学者・文化人アピール、著名な15氏の激励メッセージのバナー、絵本作家・長谷川義史氏のライオン像ポスターなど、力強く楽しいメッセージをいただき勇気と元気をもらいました。

多くの市民団体が「大阪市廃止反対」で奮闘し、地域では市民一人ひとりが手作りポスターやビラで行動に立ち上がりました。10月31日には梅田で市民と野党の共同街頭宣伝も行われました。

各地域では、「連合町会長に申入れると、歓迎してくれた。ある地域では反対決起集会を

開き、地域連絡会幹部に参加申し入れがあり、話をさせてもらった」「区内100人の町会長訪問を行い、『自民支持層のなかで賛成が多い』との報道を受け、再度訪問した」「連絡会で16の連合町会長を訪問し、交流した。コロナ禍での住民投票に対する怒りは大きく、町会長の連名で『住民投票はするな』『投票所事務の協力はしない』と要望を市役所に提出した」「町会長訪問をする中で、『自民党よりあんたの方が頼りになる』という役員もいた」と報告されています。

住民投票のたたかいでは、一部のメディアは「反対派は前回のような一枚岩になっていない」と冷ややかな論評もありました。しかし、それはまったく皮相的で、各団体、政党と市民が文字通り「大阪市廃止を許さない」という目標と「お互いがそれぞれでがんばる」という共同の意思が鮮明なスクラムを組み、それぞれの持ち場で多彩な行動をくりひろげました。だからこそ「1+1」が「3」にも「4」にもなり、「多数派」をつくって勝利しました。それは大阪における共同の新たな到達点をきずくものでした。

これからの課題と教訓

住民投票において「明るい会」「よくする会」は、①一貫して維新・「都構想」と対峙してきた団体にふさわしく、「住民投票」でも正面对決し、②「都構想」の問題点を的確に衝く点でも、いまの大阪市を活かしてどういう方向をたどるかという前向き提案という点でも論戦の先頭にたち、③「日刊ビラ」作戦にみられる草の根の組織力を発揮し、市民と野党の共闘のカナメ、市民とのかけはしという点でも、大きな役割を発揮しました。

同時に、さまざまな課題も浮き彫りになっています。

住民投票結果を受けて、松井市長は大阪

維新の会代表を辞任し、市長任期終了後の政界引退を表明しました。吉村知事も、「自分が三度目の都構想に挑戦することはない」とのべています。

しかし、その舌の根も乾かないうちに、翌年の2月議会に「府市広域行政の一元化条例案」と「8区総合区案」を提出する意向を表明しました。これは「大阪市を廃止」することにきっぱり反対し、「大阪市を残し、政令市としての権限、財源を市民の命と暮らしを守るために活用する」と審判を下した市民の民意に真っ向から逆らうものです。また、地方自治法の規定や都道府県から市町村への権限移譲という地方分権の流れにも背くものです。

「明るい会」「よくする会」は、この無法な企みを断固としてストップさせます。「カジノ誘致」も断念させるところまで追いつめましょう。

住民投票でかかげた「新型コロナ対策」「保健・医療・福祉の抜本的拡充」「20人学級」などを政令市としての権限・財源を使い、すすめることも急務です。住民アンケートや各種署名などの運動を積み上げ、対府交渉、対市・区交渉なども日常的に展開していきましょう。

「二重行政解消」論や「大阪の成長」論など、維新がふりまき、なお大きく残る虚構、幻

想を日常的に、府民的に解く活動も重要です。また、維新府政・市政を転換するための府民・市民の共同を、住民投票での経験と教訓をもとに、さらに壮大に発展させなければなりません。

そのためにも、「明るい会」「よくする会」の力量をさらに引き上げ、維新のさまざまな策謀を打ち破るとともに、府・市政の抜本的転換を担うにふさわしい共同組織へと成長することです。

2021年には必ず解散・総選挙がたたかわれます。2022年には参院選、そして2023年にはいっせいで地方選挙と政治決戦の舞台が続きます。

住民投票の歴史的勝利を力に、国政でも維新を追い詰めるとともに、今度こそ維新府政・市政の転換をはかるために総力をあげようではありませんか。

反対多数の結果を受けての記者会見場



大阪市廃止反対多数が確実となり喜ぶ人たち

—— 維新政治 激動の10年間 ——

広がる「都構想」反対運動

2008

2月6日 橋下徹氏が知事就任

2009

4月24日 府議会会派「自由民主党・維新の会」発足

2010

1月12日 橋下徹氏が「大阪都構想」発表

4月1日 府議会会派「大阪維新の会大阪府議会議員団」結成

4月19日 「大阪維新の会」発足

2011

4月10日 大阪維新の会、府議選で過半数獲得、大阪市議会、堺市議会でも第1党に

11月27日 橋下氏が知事を辞職してしかけた知事・大阪市長ダブル選投開票
松井一郎氏が知事に、橋下徹氏が大阪市長に当選

12月27日 第1回府市統合本部会議

2012

8月29日 「大都市法」可決・成立

9月28日 日本維新の会発足

12月26日 第46回総選挙で日本維新の会が54議席を獲得 安倍内閣発足

2013

2月27日 第1回大阪府・市特別区設置協議会

7月21日 参院選、自民大勝、維新8議席獲得

9月29日 堺市長選。維新候補破れる

10月24日 維新の会が都構想推進本部発足させる

2014

3月23日 橋下市長が、法定協での議論が思うように進まないため、市長を辞職
出直し選挙に立候補・当選。無効票6万7506票

6月27日 維新の会会派が多数になるよう法定協委員を入れ替え

10月27日 「都構想」協定書が府議会、大阪市議会本会議で維新以外の反対多数で否決

12月25日 公明党が、「住民投票まで行く」ことで維新の会と合意、協定書案に賛成の方針に転換

2015

1月13日 法定協で「協定書案」を維新・公明の賛成多数で可決

3月13日 大阪市会で「協定書案」を維新・公明の賛成多数で可決

3月17日 府議会で「協定書案」を維新・公明の賛成多数で可決

4月12日 府議選で維新42議席、大阪市議選で36議席とともに過半数に届かないものの第1党に

4月27日 住民投票告示

5月10日 大阪市をなくすな! 5.10市民大集会&パレードに5000人

5月17日 住民投票で大阪市廃止反対が多数に。結果を受け橋下氏が政界引退を表明

11月22日 府知事、大阪市長ダブル選。松井知事が202万票を得て再選
衆院議員だった吉村洋文氏が市長に立候補、59万6千票で当選

2016

7月10日 参院選大阪選挙区で維新が2議席獲得

2017

6月27日 第1回大都市制度協議会（法定協）開催

9月24日 堺市長選。維新候補再び破れる

10月22日 衆院総選挙投開票、大阪19小選挙区での当選者は、
自民10、維新3、公明4、立憲1、無所属1

2018

12月26日 松井知事が府議、市議の任期までに住民投票を行うとの約束を公明党が破り、
法定協での議論を引き延ばしているとして、公明党と水面下で交わした合意書を公開

2019

1月23日 この間の法定協が紛糾

2月2日 松井、吉村両氏が、知事・市長を入れ替わってのダブル選実施を示唆

3月7日 法定協議会で、11月の住民投票実施を盛り込んだスケジュール案が公明などの
反対多数で否決。松井知事「死んでも死にきれない」

3月8日 松井氏が知事、大阪市長の任期途中辞職と、立場を入れ替えて出馬することを正式表明

3月18日 明るい会、よくする会が知事選で小西禎一氏、大阪市長選では柳本顕氏を
自主的に支援することを発表

4月8日 知事、大阪市長入れ替えダブル選投開票。維新「完勝」、府議会でも過半数

4月21日 衆院大阪12区補選で維新候補当選

5月19日 公明が「総合区」案を取り下げ「都構想」に大枠賛成へと方針転換

6月9日 現職辞職に伴う堺市長選。4年間都構想議論はしないとした維新候補が当選

7月21日 参院選投開票。大阪選挙区では維新が1位、2位で2議席獲得

11月22日 維新と公明、大阪市廃止の制度案で大枠合意

2020

1月22日	明るい会が「新春のつどい」。立憲民主、社民など野党各党、各界からの参加
3月23日	法定協議会が新型コロナウイルスの感染拡大で4月の「出前協議会」の開催見送り決める
4月2日	明るい会、よくする会がコロナ対策に全力を挙げるよう求めるアピール発表
4月7日	安倍首相、新型コロナウイルス感染拡大で7都府県に緊急事態宣言
4月28日	5月の連休明けに予定していた出前協議会の中止決定
5月21日	新型コロナ対策の緊急事態宣言解除
5月29日	住民投票の11月実施について、松井市長が「最後にやるかどうかは9月に判断する」
6月13日	平松元大阪市長ら6氏が市民アピール「コロナ禍を乗り越え、希望ある未来を切り拓こう～安倍政治でも維新政治でもない、新しい政治を」発表
6月13日	大阪5野党が「政策フォーラム」
6月18日	大阪市をよくする会、松井大阪市長に、大阪市廃止やカジノ誘致でなく、新型コロナ対策に全力をあげるよう求める個人請願8千人分を提出
6月19日	法定協で「協定書案」維新、公明、自民府議団の賛成多数で可決
7月3日	吉村知事、新型コロナウイルス対策の「大阪モデル」の基準緩和
7月16日	「都構想」賛成、反対で割れる自民党大阪府連が公開討論会開く
7月30日	明るい会、よくする会がアピール発表。「なすべきは『大阪市廃止＝都構想』の『住民投票』でなく、いのちと暮らしを最優先した明日の大阪への転換です」
7月31日	法定協、大阪市廃止特別区設置の「協定書」正式決定
8月4日	吉村知事、新型コロナ対策で「うがい薬」発言。医療関係者から抗議、批判相次ぐ
8月11日	大阪市、住民説明会開催を8回にすると発表。5年前は39回実施
8月17日	自民党府連、「都構想」反对方針を決定
8月18日	協定書採択のための臨時府議会、市議会が開会。府民連、市対連が宣伝、要請行動
8月28日	府議会で「協定書」が維新、公明、自民の一部の賛成多数で可決 安倍首相が体調を理由に辞意表明
9月3日	大阪市議会で「協定書」が維新、公明の賛成多数で可決 明るい会、よくする会がアピール、「府議会・大阪市会における大阪『都構想』の『協定書』議決に抗議する！『大阪市廃止・解体』に再びノーの審判を！」 明るい会、よくする会が合同団体・地域代表者会議。 100万人対話、5万回スポットなど呼びかけ
9月7日	大阪市選管が住民投票11月1日投開票を決める。 投票用紙に「大阪市を廃止し特別区を設置する」の文言を明記することに

2020

9月26日	菅義偉政権発足
9月28日	住民投票説明会始まる。知事、市長のPR一辺倒に「まるでマルチ商法」との批判も
9月29日	市の「都構想」広報番組作成で、職員が「賛成に誘導するための広報だ」と発言していたことが判明
9月30日	明るい会、よくする会が大阪市に「公正・中立」の立場を逸脱した「住民投票」広報のあり方に強く抗議
10月1日	明るい会、よくする会が「大阪市なくすな！こころはひとつ10.1ネットワーク集会」開催 サテライト会場などを含め約1,700人が参加
10月10日	「大阪市廃止・都構想反対！」と市民ら700人が御堂筋をパレード(実行委員会主催)
10月12日	住民投票告示。明るい会、よくする会が市役所近く(淀屋橋)で宣伝 明るい会、よくする会が合同代表者会議開催。アピール「大阪市の存続、都構想ストップ！全構成員の総決起で100万人対話をやりとげ住民投票に必ず勝利しよう！」
10月13日	よくする会発行の日刊ビラ、市内約100カ所で宣伝開始(～10月30日)
10月18日	公明・山口那津男代表が大阪市内で「都構想」賛成の街頭演説
10月21日	明るい会、よくする会が記者会見。アピール「住民投票の折り返し点にあたって情勢と論戦の特徴、両会の今後の活動について」
10月26日	「毎日新聞」が大阪市4分割でコスト218億円増の市試算を報道。 維新の情報隠しに批判高まる 明るい会、よくする会が合同活動者会議
10月29日	市財政局の市4分割218億円コスト増の試算を松井市長が「ねつ造」とし、財政局が会見して試算を撤回する事態に
10月30日	明るい会、よくする会、財政局長に試算を撤回させるなどした問題で大阪市役所内で記者会見
10月31日	JR大阪駅北側で、社民党福島瑞穂党首ら各党、団体による共同街頭宣伝
11月1日	住民投票投開票。大阪市廃止に反対が多数で市存続。松井市長が「政界引退」表明
11月5日	松井市長が、市の広域行政の権限と財源を府に移す「一元化」条例を目指す考え示す
11月6日	吉村知事が、「都構想」の制度案で市から府に移すとした成長戦略など427事務を中心に「一元化」を検討する考え示す
11月13日	明るい会、よくする会、「住民投票報告集会」開催
11月17日	よくする会、市対連が市役所周辺で宣伝。松井市長は住民投票の結果を守れ



メッセージ

(50音順)

住民投票活動記録集発刊にあたって各界のみなさんからメッセージを寄せていただきました。(見出しは編集部)



石田 法子さん
弁護士

まともな経済活動で発展を

一人ひとりの市民の力の結集で、私の愛する故郷・大阪市が引き続き存続する。何よりもほっとしている。

しかし、再び大阪市の財源を狙っている人たちがいる。まだまだ安心はできない。目を光らせていよう。大阪の経済発展はカジノのあぶく銭ではなく、強い中小企業づくり、起業の支援等々、まともな経済活動で進めよう。



小澤 力さん
大阪府歯科保険医協会
理事長

地域医療を支えるため、手を携えて

投票日まで、持てる力を精一杯注ぎ込みました。学習会、市内全会員訪問、街頭宣伝などの様々な運動は、協会にとって大きな財産となりました。コロナ禍の中、住民の生命と健康が何より大切です。歯科医療機関を守り、地域医療をしっかりと支える大阪市にするために、患者さん・会員の先生方と手を携え、一層努力していきます。



尾辻 かな子さん
立憲民主党衆議院議員

すべての大阪市民のための市に

2020年11月1日、大阪市廃止分割を問う2度目の住民投票も反対多数となりました。大阪市をなくしたらあかん、こんなコロナで大変な時に住民投票はおかしいと様々な危機感をもたれた市民一人ひとりの皆さんの底力、行動、連携がこの結果をもたらしたと思っています。対立と分断は終わりにし、すべての大阪市民のための大阪市を作っていきます。



桂 文福さん
落語家

力合わせて姿勢(市政)をただそう

開票速報 ハラハラドキドキ しかし反対派が土俵際でうっちゃり 大阪市が残った のこった 反対派も賛成派も 気持ちを分断することなく 力を合わせて礼儀正しく ピシッと背筋を伸ばして 姿勢(市政)をただしましょう



小西 禎一さん
元大阪府副知事

真の地方自治発展の新たなスタートに

知事選挙で果たせなかった「大阪市廃止解体」を阻止する再度のチャンスが住民投票だった。大阪市民、府民を不幸にする「都構想」の欺瞞を限られた時間の中でどれだけ多くの市民に届けられるか。多くの政党、市民団体のたたかいに参加させていただいた。この勝利を大阪に真の地方自治を取り戻し発展させる新たなスタートにしたい。



桜田 照雄さん
阪南大学教授

この勝利は大阪市民の政治的財産

住民に不利益を与える行政を住民は享受するのか——これを念押しするのに2度の住民投票が行われた。賛成派は、「詐欺・瞞着・詭弁・恫喝・利益誘導」など、あらゆる手段を使って、「大衆煽動」をくり広げた。これに打ち勝つ経験を得たことは、党派のいかにかわからず、大阪市民が共有すべき政治的財産である。



長崎 由美子さん
社民党大阪府連合代表

この力を維新政治の廃止に向けよう

11月1日大阪市廃止の住民投票に見事勝利したのは、まさに目覚めた市民の力と、政党や団体が、互いにリスペクトし勝ち取ったものです。

私たち社民党も微力ながら環状線朝立ち、福島瑞穂党首2度の来阪で大阪市を無くすなど訴えました。自発的にビラをまき、ポスターを持ってスタンディングする市民の力が圧倒的な力の差に打ち勝ったのです。この力を維新政治の廃止に向けて野党共闘と市民連合を進めていきましょう。



住民投票活動記録集発刊にあたって各界のみなさんからメッセージを寄せていただきました。(見出しは編集部)



中野 雅司さん
大阪・市民交流会共同代表

新たな市民の時代への一步に

この住民投票は、平松さんと共に支持政党や思想、信条を越え、都構想に反対というワンイシューで市民の皆さんとたたかい抜きました。寄付金総額306万円、作成したチラシ60万枚、のべ550名強の皆さんと共に駆け抜けました。新たな市民の時代への一步が始まったと思います。



中山 徹さん
奈良女子大学教授

都構想否決にとどまらず、維新政治の転換を

市民の最高の意思表示である住民投票で、都構想を2回も否決したことは画期的です。

大阪市民に改めて敬意を表します。ところが、維新は市民の意向を無視し、広域行政一元化条例を画策し、維新の国会議員は3度目の住民投票を目指すと公言しています。都構想の否決にとどまらず、維新政治そのものの転換が必要だと思います。



長谷川 義史さん
絵本作家

火種作って煽るやり方に憤り

no side って描いたけど。元々なにも同じとこに住み生きるみなでたたかうことなんか望んでいません。みな垣根なくお互いさんでやってるんです。そこにわざわざ火種作って煽るやりかたに憤ります。



平松 邦夫さん
第18代大阪市長

場外乱闘を仕掛ける連中は永久に場外に

奇跡的な結果につながった2度目の住民投票を、「大阪・市民交流会」共同代表として取り組んだ。コロナ禍の中、本当に多くの市民の自発的な広がりが大阪市を残したと思う。しかし、民意という言葉を自分都合で使う連中の企みは終わったわけではない。今度は場外乱闘を仕掛けようとしている。永久に場外に出てほしいものだ。



宮本 亜紀さん
弁護士

市民生活を守り、発展する大阪市を一緒に

大阪市が廃止されれば市民の生活がこんなに困る!と伝わるほど、反対が広がる手応えがありました。大阪市を良くしたい思いは変革を期待して賛成された方々と同じです。政令指定都市の権限と財政をどう使うか、今後は市民の生活を守り、発展する大阪市を一緒に作っていきたいです。だから、新たな広域行政一元化の条例案には反対。



山中 智子さん
日本共産党
大阪市区議員団長

つないだ手を離さず、根を断ち切ろう

「なにわの市民革命」というべき動きの結果の否決。誰一人欠けても勝利はありませんでした。またぞろ制度いじりが画策されていますが、権力を笠に、無理を通そうとすればするほど民意が離れることを住民投票が教えてくれました。市民同士がつないだ手を離さず、より強め、制度いじりの根を断ち切るまで頑張りましょう。



渡辺 武さん
元大阪城天守閣館長

現制度を活用し、まともな市政へ

「11.1住民投票」の結果、大阪市存続が決まったことにホッとしています。大阪市は市制施行が130年余、政令指定都市移行後64年の近代都市ですが、豊臣時代の城下町以来400年を超える長い歴史と伝統を持つ世界に知られた大都市です。市民の誇りと愛着も深く、現制度を活用したもっとまともな市政への改善こそ課題です。府への「広域一元化」など許してはなりません。

明るい会・よくする会の宣伝物

事前宣伝物		発行日
「都構想」学習パンフレット 856号	(2019年) 11月26日	
ビラ 857号		4月28日
ビラ 425号/A4版下版		3月6日
ビラ 426号/A4版下版		5月28日
ビラ 427号/A4版下版 カラー版/K版		6月26日
ビラ 428号		7月22日
ビラ 429号		9月4日

まるわかりパンフなど	発行日
まるわかりパンフ	10月1日
10.1集会報告ビラ	10月7日
対話用リーフ	10月26日

分野別ピラ	発行日
保育向けピラ 430号	10月4日
市営住宅向けピラ 431号	10月8日
青年向けピラ 441号	10月21日

日刊ピラ	発行日
日刊ピラ① 433号	10月13日
日刊ピラ② 434号	10月14日
日刊ピラ③ 435号	10月15日
日刊ピラ④ 436号	10月16日
日刊ピラ⑤ 438号	10月19日
日刊ピラ⑥ 439号	10月20日
日刊ピラ⑦ 440号	10月21日
日刊ピラ⑧ 442号	10月22日
日刊ピラ⑨ 443号	10月23日
日刊ピラ⑩ 445号	10月26日
日刊ピラ⑪ 446号	10月27日
日刊ピラ⑫ 447号	10月28日
日刊ピラ⑬ 448号	10月29日
日刊ピラ⑭ 449号(最終号)	10月30日

全戸・折込ビラ	発行日
全戸ビラ 858号	9月11日
折込ビラ1弾 432号(告示前)	10月9日
本番用全戸ビラ 437号	10月17日
折込ビラ2弾 444号	10月24日

プラスター、バナー、WEBなど	発行日
都構想・住民投票問題プラスター 2口	7月14日
大阪市廃止反対プラスター 4口	9月14日
シールアンケート用プラスター	10月3日
都構想反対(住民サービス低下)プラスター	10月9日
日刊ビラ配布中プラスター	10月10日
桂文福・渡辺武AIプラスター	10月24日
最終版(投票門前宣伝用)プラスター 3口	10月28日
Twitterサイズバナー 9種	
バナー人物 4種	
特設サイト・YouTubeチャンネル	

グッズ	発行日
未来をつくろうポテッカー 2口	(2019年) 11月26日
都構想反対のぼり 3口	9月15日
大阪市廃止反対のぼり	10月1日
住民投票「反対」ハガキ	10月6日
おみくじ(名刺)ピラ	10月6日
横断幕	10月9日
都構想=大阪市廃止反対マグネットシート2種	10月10日
宣伝用ポスター 2口(カジノ/コロナ)	4月28日

記載のないものは2020年

告示前



●「都構想」学習パンフレット(明るい会 機関紙856号)



●明るい会 機関紙857号



[illegible]

いまやるべきは コロナ対策の 強化です!

大阪ではコロナ感染者の急増で「黄色信号」が点灯しました。
いま、やるべきは住民生活でなくてはコロナ対策の強化です。

PCR検査の拡充・医療機関に経営支援を!

検査数を一日1~2万件にし、感染が疑われるすべての人へ、医師・検査技師等、人混みや・人混みが激減する受け入れ体制も整備する。感染拡大のペース時に必要となる病床と感染患者の受け入れ体制も。

医療機関への経営支援も経営支援をします。

3割の医療機関で夏のボーナス減。
[支給ゼロ]の病院も
[臨時手当が切り下げられ]と危機感。<参考>

20人程度の学費や少人数塾をプレゼント、3密解消を! [参考]

20人程度の学費や3密をなくし、ゆとりといた教育をもつてのまじし。新コロナの学費減免の動きも全道府県で、全道府県で少人数塾の学費も減免を決定しました。

大阪市は小規模校の統廃合を指摘する批判もつくり、通学区を増やそうとしています。

「Go Toキャンペーン」は中止を!

観光客が減少する中で観光は中止し、観光客への支援も停止すべきです。

3密防ぐ避難所を!

会場1~2万人を1会場に、避難所の感染・死者も増加しています。

補償と一体の休業支援と緊急支援を!

休業支援金補償と一併で行うこと。
事業主への支援、生活保護の活用、国保・介護保険料の引き下げなど失業・収入への対策が急務です。

6月の大阪府の機能件数は163件、全国の都道府県で最悪です。<参考>[参考]

国への財政支援と大阪市の貯金(約1,300億円(増減減))の活用を!

他の道府県では、大阪より貯金増減が少なくに減損の支障も発生しています。
国にも財政支援を求めると、全国で最も貯金と貯金を活用し、支援を求めにします。

●国庫増収金1,000億円(参考)
●大阪府の貯金1,300億円(参考)
●大阪府の貯金1,300億円(参考)

スピードアップを! / 大阪市の「10万円」支給

京都市は9割、神戸市では99%を総額10万円、とこが大阪市では10万円を700万円に引き上げ、スピードアップを促進しています。

天橋

「大阪府よりよく大阪を、大阪府よりよく大阪を」
大阪府よりよく大阪を、大阪府よりよく大阪を

〒530-0001 大阪市北区中之島1-1-1 大阪府庁舎内
TEL 06-6241-1111 FAX 06-6241-1112

大阪府庁舎内
大阪府庁舎内

私たちが 「住民投票」に 反対する理由は、

コロナ禍から 命とくらしを守り コロナ後に より良い大阪を つくるためです。



大阪市廃止 vs 都構想では 住民サービスは必ず低下します！

大阪府は、全市市域でほのえきな特選で、16歳までの児童福祉施設、地下鉄・市バス・乗合バス、施設整備、新規子育て世帯向け分譲住宅購入補助など独自の住民サービスを展開してきました。【財政再編費割比】も他府県に比べて高いです。

ところが【都構想】による大阪府廃止・分割は大阪大

なコスト・歳費がかかるため、特別区は財源がなくなり、独自の住民サービスの提供は必ず弱くなります。

しかも、府費の65%は市に配分しつけられ、市の交付金止めのみにし、今後必要となるコロナ対策や子育て支援、高齢者福祉など新たな住民サービスの提供が困難になります。

「地域」にしかない 「区域外」の「府費」

【特別区】のコスト削減のため大阪府費を削減する【合併特例法】による対策です。自治体の区域外に「府費」があるのは、日本では東京都だけ、これには【自治体の廃止】を求めている人（大田区長選挙）と既得権者あり、財政対応も心配です。



大阪府の25区と区域外

コロナ前の「協定商業」は使えない

【協定】は大阪府の特別区と協定を結ぶようとしている【協定商業】です。コロナ以前につくられたもので【住民投票】【財政再編】に変わります。使えません。土佐（堺市）が閉れる前に協定を結ぶ設置工事をはじめるような、こんな民間活用は避けたい。

「介護保険料下げて」の 声が届かない

全道一貫一大阪市の介護保険料、特別区になると【一部事務組合】（25の特別区で共同設置）が閉鎖し、低下は望むが声が届かない状態になってしまいます。

住民に対立持ちこみ コロナ対策に支障

コロナ対策費は、すべての市民が力を合わせて募ることが必要です。そんなときに賛否が真っ二つになる【住民投票】で対立・分断を持ちこんだらダメです。

貴重な財源は、大阪市廃止・分割ではなく、コロナ対策に 大阪市廃止のための住民投票は中止を！

住民投票の中止を求める陳情署名にとりかんでいます。ご協力ください。

コロナ禍に『大阪市廃止』?!

「都構想」協定書可決に 広がる不安と怒り



大崎市を廃止する「都構想」の協定書を府議会(8月28日)、市議会(9月3日)で議決されました。コロナ感染の影響で市民の心しきり苦痛が大きな中で「快府経費」実現に伴う不安と怒りが広がっています。

いま総力をあげるべきは「新型コロナウイルス対策」

深刻な大阪市のコロナ感染 足りないPCR検査

大阪では8月にコロナ感染者42人が亡くなり全国最多でした。府下の3割の人口の大阪市内の感染数は大阪府全体の5〜6割で深刻な実態です。しかし、大阪市のコロナ感染症対策本部報告(注)は5月22日を最後に更新されず、大阪府までという無責任さです。医療機関への経営支援、PCR検査の拡大などが急務です。

	人 口	検査件数	陽性者数	死者
大阪府	882万人	136,409人	8,656人	155人
大阪市	275万人	42,810人	4,604人	93人
大阪市の割合	31%	31%	53%	60%

(注)大阪府・大阪市の新型コロナウイルス感染症対策本部報告(注)

コロナ感染
大阪府と
大阪市内の
割合

「設計図」のずさんさがあらわに

ベテンの「更新版」財政シミュレーション

8月11日、前副市長兼局長が「特別区(設置後の財政シミュレーション)」「更新版」を出し、特別区は「収支不足なし」と言っていた事を今も入っています。中立的であるべき行政が党派を越え記録的な資料だと批判の声があがっています。

コロナ禍の 新難題を試みず!

「試算は正確で信頼できる」とコロナ対策を試算に加えています。ところが、財源不足は今度が限らずるとの認識です。増える税負担の負担が累積増やすことには入り得ません。

大阪メトロ 新型コロナで赤字に転落

コロナ前の大泉寺市営線に「更新版」の収入に上回して「収支不足なし」を主張。今年度はコロナで第1四半期が赤字に転落。市営バスをスリッドしてはいけません。



大阪府が借金返済
二重に市民に負担せよ

一重で返済した上で、更に借金返済に追いついていないのに、更に借金を増やしている状況だ。



「都構想」より「都」
「都」に反対する

「都構想」が実現されると、大阪府は「都」になる。これは大阪府民にとって非常に不利なことだ。大阪府民は「都」に反対する。



くらしを守るため、税金が増えれば、生活が苦しくなる。

大阪市の住民が、税金を増やせば、生活が苦しくなる。大阪市の住民は、税金を増やさないように努めるべきだ。

【大阪府】大阪府知事 松野 博一
【大阪市】大阪市長 松井 一郎
【大阪府議会】大阪府議会議員 佐々木 隆子
【大阪市議会】大阪市議会議員 佐々木 隆子



「天狗」大阪府版 毎月発行
〒550-0001 大阪府吹上区吹上 1-1-1
TEL 06-6511-1111 FAX 06-6511-1112
E-MAIL tenkuu@tenkuu.co.jp

〒550-0001 大阪府吹上区吹上 1-1-1 天狗ビル 1F
TEL 06-6511-1111 FAX 06-6511-1112
E-MAIL tenkuu@tenkuu.co.jp



コロナ問題——大阪の社会・経済のあり方を考える議論をこいっしょに

私たちは「ポスト・コロナ」の新しい大阪をめざしています

保健・医療体制を抜本的に充実しましょう！

コロナ禍においても公立病院の医療提供、経済会計等一これを中心し、必要医療数の確保も！大阪市では24時間体制での対応が求められました。増設、増強を！公立病院は重要に突進です。「医療費削減路線」から「拡充」へと抜本的切り替えを！

「カジノ・インバウンド頼み」でなく
くらしを大切にしてこそ大阪は成長します

インバウンド（外国人観光客）頼みから、くらしの向上と内需拡大へ！「消費税5%への減税」「安心の社会保障」「人間らしい働き方」などところをあたため、海部大阪を印象させよう！中々第三産業を重要とし、後継者づくり、社会保険料の使用削減負担への支援制度をつくり最低賃金のアップを！努力目標はきつて中止させましょう！

20人程度の少人数学級で
子どもたちに確かな学力と成長を

新型コロナウイルス感染症が確認されています。教員数の増員と教室の整備で、20人程度の少人数学級にしましょう！子どもに適切な学習を押しつけてなく「チャレンジテスト」は廃止し、大阪市内の17年度以下の統合会を抜本的にすすめる「統合会条例」は廃止を！公立学校の給食費を無償化しましょう！

危機に備え、府も、市も、
「公」の機能回復、役割、体制の強化を

コロナ危機のなかで（感染症用）ベッドを民間病院が赤字覚悟で準備できない、公立病院だからこそできる「消防や警備はいざという時のためにある、医療や救護も同じ、公（おやけ）がきちんと支えらるべき」との声が湧き起こっています。必要な部門（公の機能を増やし、何でも民間化）から「公共」の役割を保障できる府・市に拡大しましょう！

多様性を尊重し、
一人も取り残されぬ大阪への歩みを

府民の大阪、「経済と生活」を行ったり来たり、文化を育み、ジェンダー等をはじめ互いの長と多様性を尊重しあい、障害、あるいは「低収入性」の押しつけがなく、誰もが人間らしくくらしができる社会へと転換する歩みをすすめてください！

私たちのよびかけの全文をぜひご覧ください

<https://www.yokusurukai.org/?p=4548>

分野別ピラ



日刊ピラ





●日刊ビラ⑦（10月21日号）



●日刊ビラ⑧（10月22日号）



●日刊ビラ⑨（10月23日号）



●日刊ビラ⑩（10月26日号）



●日刊ビラ⑪（10月27日号）



●日刊ビラ⑫（10月28日号）



●日刊ビラ⑬（10月29日号）



●日刊ビラ⑭（10月30日号）



●折り込みビラ 第一弾（よくする会 機関紙432号）

[illegible][illegible]

●折り込みビラ 第一弾（よくする会 機関紙432号）

[illegible]

● 折り込みビラ 第一弾（よくする会 機関紙432号）

[illegible]

● 折り込みビラ 第一弾（よくする会 機関紙432号）



● 都構想・住民投票問題



● 大阪市廃止反対

「都構想」=大阪市を廃止する!? シールアンケート実施中

「大阪市廃止」にあなたは?			ご存じですか? ご意見を聞かせてください					
賛成	反対	わからない 決めていない	YES NO		知っている 知らない		知っている 知らない	

財源は、大阪市の1/3。府が決める「交付金」だのみになる

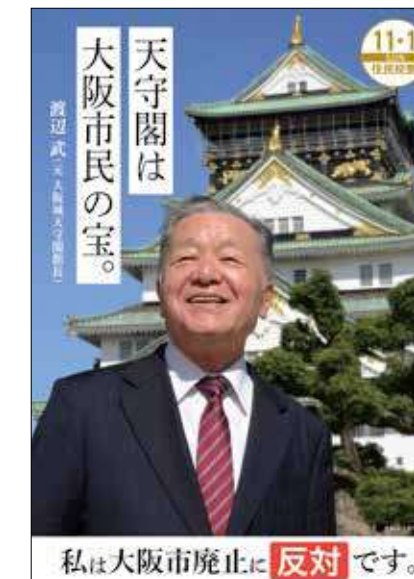
大阪市の廃止され、2度と元に戻れません

市民プール・子育て支援施設など住民サービスが削減される

● シールアンケート用プラスター



● 住民投票問題



● 渡辺 武 A1版



● 桂 文福 A1版

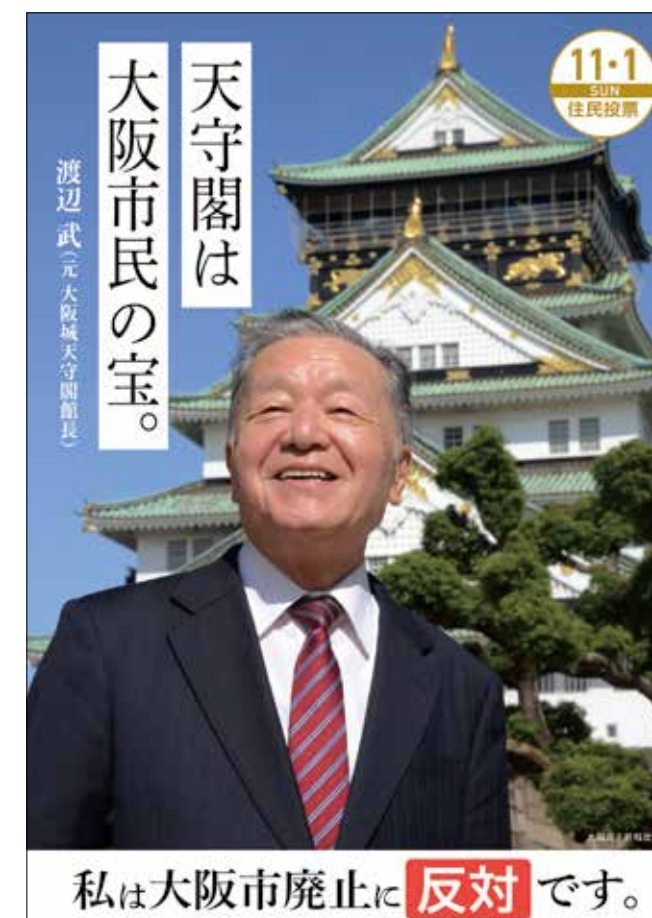


● 最終版(投票門前宣伝用)





● Twitterサイズ ヨコ型バナー 9種



● 人物・要求別バナー 4種



- YouTube
都構想って
おかしいんちゃう?
住民投票について
考えよう ch



- 特設サイト
<https://thinktokousou.jp/>



グッズ



- 未来をつくろうポテッカー



- 未来をつくろうポテッカー



- 都構想反対のぼり



- 大阪市廃止反対のぼり



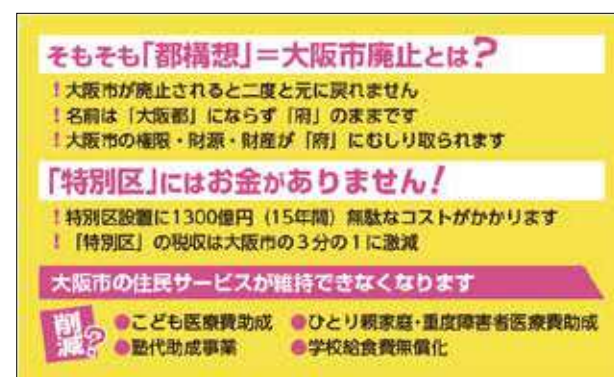
●大阪市廃止 反対ハガキ



●都構想=大阪市廃止マグネットシート



●おみくじ(名刺)ピラ



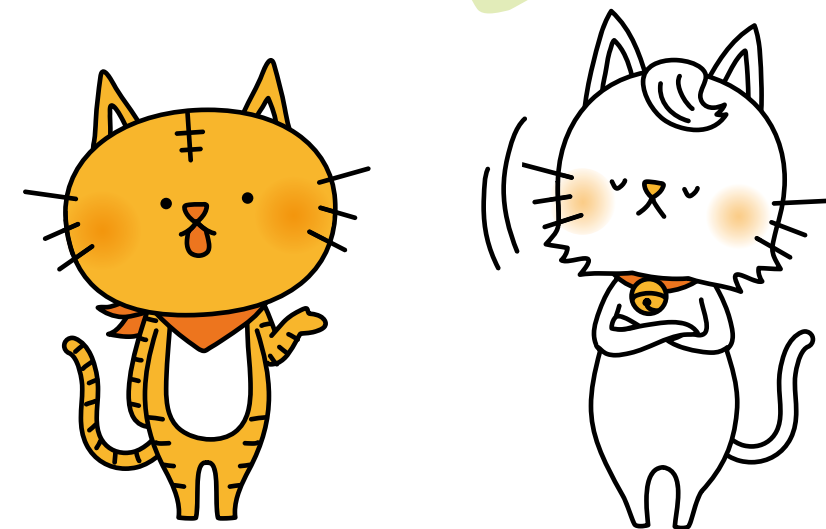
●宣伝用ポスター



●宣伝用ポスター



長谷川氏イラスト



● 他政党、団体、個人などの宣伝物



● JCP大阪 市内折り込み361号 (日本共産党大阪府委員会)



● JCP大阪 市内折り込み363号 (日本共産党大阪府委員会)



● 大阪商工団体連合会新聞 都構想反対特別号



● 「健康の友」号外



● JCP大阪 市内折り込み361号 (日本共産党大阪府委員会)



● 障害者(児)を守る全大阪連絡協議会 きょうさん大阪支部



● 大阪商工団体連合会プラスター



● 自由法曹団大阪支部「都構想ってなに」



● JCP大阪 政策ポスター (日本共産党大阪府委員会)



● 大阪府保険医協会 都構想リーフ



● 呼びかけ版下 衛生都市版



● 呼びかけ版下 大阪府外版



● 大阪民主医療機関連合会パンフレット



● 大阪府保険医協会 都構想パンフ



● 大阪市学童保育連絡協議会チラシ

JiminSiMin 32
11月1日住民投票へ!
自民党は都構想に
反対
しました!

大阪都構想
大阪市民の
住民サービスが
低下!

都構想になると特別区の財政が持続しない! **赤字に陥る!**

コロナ禍で財政が苦境に陥っている中、**多額のコスト**が増える

特別区はコスト増大

大阪府はコスト増大

特別区では、**財政赤字**が深刻化し、**住民サービス**の低下が懸念される

**朝刊 大阪市廃止(都構想)は
218億円コスト増で**大赤字****

特別区は財政赤字に陥る! **218億円コスト増**

特別区は財政赤字に陥る! **218億円コスト増**

**反対票を
入れまひょう!**

「白票」や「棄権」では大阪を守れません!

大阪市民・特別区住民投票
11/1(日) 投票開票

大阪市廃止に賛成しますか?

大阪市の未来は、**住民サービス**の低下が懸念される

大阪市の未来は、**住民サービス**の低下が懸念される

REAL OSAKA PRESS

お金が危ない!

11月1日は大阪市廃止を問う
投票に行こう

あなたの反対票で、都構想にSTOP!

**1分でわかる
都構想の
お金の
危険性**

大阪府議会
少数派

大阪府議会
少数派

REAL OSAKA PRESS

**特別区への移行で
新「北区」は
11月1日
迷の反対**

特別区への移行で
新「北区」は
11月1日
迷の反対

**大阪市4分割で
コスト年「218億円」増**

※自治体の運営に必要な基準財政需要額

投票が始まってから
言うなよ...

まだの人は投票行こう!!
11.01 大阪市廃止反対

●「大阪どーなる!」バナー

**大阪市4分割で
コスト年「218億円」増**

※自治体の運営に必要な基準財政需要額

期日前投票
してもおたけど
どのみち
反対やし、ええか...

まだの人は投票行こう!!
11.01 大阪市廃止反対

●「大阪どーなる!」バナー

緊急号外 「都構想」は「コスト増」だったって?! 隠してたの?

大阪市財政局は都構想を実施した場合、
標準的な行政サービスを実施するためのコストが
現在より**毎年約218億円増える**という試算発表だよ

反対派は法定協議会でやるように散々言ってたのに!
すでに期日前投票で約23万人も投票しちゃってるよ!

「問題なし」としてきた賛成派の主張がこれで
覆されることになったね

これじゃ特別区民は下手したら
特別に苦勞する区民ということになっちゃうぞ!

棄権や白票はダメ!
迷ってる人は「反対」票を入れにいくのじゃ!

GO! 住民投票
NO! 都構想

**カジノに大阪の
未来は
ない**

**11.01
大阪市
廃止に
NO**

●「大阪どーなる!」バナー

**大阪市の権限・財政が
府にむしり
取られる!**

**11.01
大阪市
廃止に
NO**

●「大阪どーなる!」バナー



あかたちかこ氏
(思春期アドバイザー)



ラサール石井氏
(タレント・俳優)



桂 あやめ氏
(落語家)



内田 樹氏
(神戸女学院名誉教授)



保志 学氏
(放送作家・演芸評論家)



豊竹咲寿太夫氏
(文案「太夫」)



桂文福氏
(上方落語協会理事)



釈 徹宗氏
(宗教学者・僧侶)



小林万里子氏
(ブルース・シンガー)



木津川 計氏
(上方芸能評論家)



有栖川有栖氏
(作家)



齋 美千子氏
(作家)



松尾貴史氏
(俳優)



石田法子氏
(弁護士)



仲岡しゅん氏
(弁護士)



大阪革新懇
Yahoo!バナー



[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

なくすな 大阪市! 魅力ある政令市を

「住民投票」共同闘争ニュース

NO.27.2022年10月22日(木)

発行：大阪府政令市トップ・住民投票研究会 共同闘争本部

(部内資料)

「都構想」NO! よい学習者を 期日前投票所前で通日宣伝

独自ビラ・ステッカー活用して
指導員・保護者全員対話やきろ

大阪府立東淀川高等学校(大阪府立)は、

11月1日(日)夜間授業中に、9月10日(土)に

1,500名参加、通日の多し。

10月10日には通日者2000名、期日前の通

日者2500名参加し、期日前の通日者として、

指導員・保護者全員、地域の通日者と共に参

加、夜間授業で通日(夜間授業)。

また、期日前投票所にステッカー・ポ

スターを貼付し、6:3000セッター、(通

日)に、通日者・保護者の通日・保護者全員との対

話をやきろ。

期日前の通日者・保護者全員、お参

加、夜間授業で通日(夜間授業)。

また、期日前投票所にステッカー・ポ

スターを貼付し、6:3000セッター、(通

日)に、通日者・保護者の通日・保護者全員との対

話をやきろ。

よける金銭化一週目通日 21日は「大阪革新懇」デー

よける金銭化一週目通日(大阪府立)は、

11月1日(日)夜間授業中に、9月10日(土)に

1,500名参加、通日の多し。

10月10日には通日者2000名、期日前の通

日者2500名参加し、期日前の通日者として、

指導員・保護者全員、地域の通日者と共に参

加、夜間授業で通日(夜間授業)。

日刊ビラ宣伝で通日ドラマが生まれたいす

「水牛にも勝たせて」24歳男性が飛び入り

水牛、期日前投票所で、日刊ビラ宣伝で、

24歳男性が飛び入り。

水牛、期日前投票所で、日刊ビラ宣伝で、

24歳男性が飛び入り。

水牛、期日前投票所で、日刊ビラ宣伝で、

24歳男性が飛び入り。

水牛、期日前投票所で、日刊ビラ宣伝で、

24歳男性が飛び入り。

水牛、期日前投票所で、日刊ビラ宣伝で、

24歳男性が飛び入り。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

政策宣伝ニュース No.12

【第9度資料】 2020年10月10日（土）

「明るい会」よくする会」
政策宣伝委員会
〒581 8809-1156

維新と公明「住民サービス良くなる」 論戦で追い込まれ、テ

アンビ大版「やさしいニュース」は毎日、維新の松井市長と公明、日本産業党の山中首脳による維新インディビジュアル松井市長は、大阪府議会「予備選」で住民サービスが公明、赤一色で成長戦略を一元化した「サービスは公明のまなましくできて、良くなる」と述べ、主税市議も「住民に身近なサービス低下するはこれまでも「住民説明会」などでは、住民サービスまでは維持できる」とし、その後は特別区長と区議が市議もらひのプレスクラブでの討論会では「未来永劫つづいてる」と述べ、論戦で追い込まれた結果、ダメな面を前向きに切り替えていくに決めた。



山中首脳は「インディビジュアル」で、良くないといけないという。それまた良くなるとか、カジノをやるまで失敗都市を分断してしまえばとて来東本城かかってるわけだから、大阪府をつぶし、隣の代まで大きな負債、論議をすこしました。

●吉村知事と松井市長がカジノ国鉄投資 ——このままでのりだして、財政

吉村知事と松井市長は9日の会見で、1良誘引について、「都府政投資を（国鉄計画）組み込みながら、経済活性化基本方針は必ず守る」（吉村）
（「全面開港の時期の遅れについて」）コロナの特殊事態がなるのかな（吉村）
今回の発言は、「（国鉄）9日付が1面トップで、政府が1政府への整備計画の提出期限について、来年3月か1年程度1ことを受けてのものと、吉村市長は会見で、「コロナの状況」と、国鉄の整備計画は最速期間に合致する形で進めて「国鉄」の発展である（吉村）財政は、カジノはしたが、コロナを越えた。カジノへの国鉄は財政破綻したへん

政策宣伝ニュース No.41

【第9度資料】 2020年10月10日（土）

「明るい会」よくする会」
政策宣伝委員会
〒581 8809-1156

「大阪府廃止」で「住民サービス低

大阪府が4つの「特別区」になると大阪府のまなましく自治体交付税の金額は大阪府のまなましく、必要な交付税の額は200億サービスに近づいていく。

＜参考＞「1府で4区が暮らし」より「4区それぞれ4府で暮らす」と同じで、大阪府が4つの「特別区」になれば行政コストがが「増える」と「特別区」のシステムなので、しわ寄せは「住民200億円の収入不足について（解説）」

● 一般的に地方交付税を決める方法
地方交付税額 = 基準財政需要額 - 基準財政収入額
● 特別区の地方交付税を決める方法
① 4つの「特別区」の地方交付税額は、大阪府の地方交付税と同等の割合で、4つの「特別区」の経費（基準財政収入）は、平均的に地方交付税の額がかわらないため、200億不足する

特別区とはなに なぜ毎年200億円不足するのか

基準財政需要額	基準財政収入額	地方交付税
1. 生活	2. 中央税	3. 国庫支出金
4. 地方税	5. 地方債	6. 国庫補助金

6. 国庫補助金 500億円

地方交付税とは？

○ 全国の地方自治体の所得の税収が住民サービスが確保できサービス水準を維持するため、国が特別区に補てんする仕組み
○ 「特別区」では、4つの「特別区」の平均の自治体とみなして金額は「特別区」ではなく大阪府に「一平化」して交付される
基準財政需要額とは？
○ 地方交付税の金額を算定するための計算する数値で、経費の計算標準的な行政コストと収入（基準財政収入額）を算出します。その差が支給される。

政策宣伝ニュース No.41

【第9度資料】 2020年10月10日（土）

「明るい会」よくする会」
政策宣伝委員会
〒581 8809-1156

「大阪府廃止」で「住民サービス低

大阪府が4つの「特別区」になると大阪府のまなましく自治体交付税の金額は大阪府のまなましく、必要な交付税の額は200億サービスに近づいていく。

＜参考＞「1府で4区が暮らし」より「4区それぞれ4府で暮らす」と同じで、大阪府が4つの「特別区」になれば行政コストがが「増える」と「特別区」のシステムなので、しわ寄せは「住民200億円の収入不足について（解説）」

● 一般的に地方交付税を決める方法
地方交付税額 = 基準財政需要額 - 基準財政収入額
● 特別区の地方交付税を決める方法
① 4つの「特別区」の地方交付税額は、大阪府の地方交付税と同等の割合で、4つの「特別区」の経費（基準財政収入）は、平均的に地方交付税の額がかわらないため、200億不足する

特別区とはなに なぜ毎年200億円不足するのか

基準財政需要額	基準財政収入額	地方交付税
1. 生活	2. 中央税	3. 国庫支出金
4. 地方税	5. 地方債	6. 国庫補助金

6. 国庫補助金 500億円

地方交付税とは？

○ 全国の地方自治体の所得の税収が住民サービスが確保できサービス水準を維持するため、国が特別区に補てんする仕組み
○ 「特別区」では、4つの「特別区」の平均の自治体とみなして金額は「特別区」ではなく大阪府に「一平化」して交付される
基準財政需要額とは？
○ 地方交付税の金額を算定するための計算する数値で、経費の計算標準的な行政コストと収入（基準財政収入額）を算出します。その差が支給される。

政策宣伝ニュース No.43

【第9度資料】 2020年10月10日（土）

「明るい会」よくする会」
政策宣伝委員会
〒581 8809-1156

大阪府分割コスト、前回は試算あり！ 市民を欺く松井市長

松井市長は、財政部が試算した大阪府をよつに分割したときの「コスト増218億円」は「ねつ造」だと批判し、それを軽減した試算も前向きに受け入れます。
しかし、2012年11月20日の大阪府財政委員会での報告の中でも、さらに詳細な住民投票の事前協議（2013年6月9日）でも基準財政需要額の試算を行い、財政への影響を説明していた。

【知事・市長案の考え】

- 大阪府を複数の特別区へ再編することにより一定のコスト増は生じる
- 地方交付税の算定から繰り出される増加額を要請追加331として補填に充てる結果、24区共通で、約200億円～800億円（国庫計）

財政局試算は「ねつ造」ではない！

松井市長は、本日の新聞発表でも「特別区」をなく「自治体」をなくならコスト増える」と言いますが、前回の試算では200億円～800億円、さらに1000億円のコスト増（下の表）を見込んでいたのです。これだけコストが増えるのに図らずも地方交付税が削減される「特別区」財政は赤字になり、住民サービス低下は間違いありません。

(4)国や他の自治体との関係

2012年11月20日国庫支出金協議会（資料）

● 新たな大阪府の財政を確保する際には、国や他の地方自治体の財政に追加で支払う必要はない
● 例に、通常の市町村と同様の方法で国庫に交付金と国庫に、普通交付税が1,000億円程度
● 国庫支出金の用途には、特定の特別区の国庫に交付税の交付金（223億円の交付金）
国庫支出金の用途には、特定の特別区の国庫に交付税の交付金（223億円の交付金）

マスコミの求めで出した試算は「ねつ造」、議会の求めで出した試算は参考値

10月30日の松井市長の記者会見
記者 前回の試算には、市長として基準財政需要額を出しているが？
記者 前回は議員の方で出したものだと市長は受け取った。参考の数値だ。今回のみんが出したものとは違って出したものには「ねつ造」
記者 経路の異なるが今回は市民の投票結果が表わしているのに都合が悪いので不正なプロセスに頼っているのでは、数字が「ねつ造」というのか？
自分たちに都合の悪い数字を隠べし、「ねつ造」と強弁する維新

● 維新の会・公明党の宣伝物



●【手配りピラ】「11月1日の投票は賛成を」



●【号外】維新プレス みんなに感謝 みんなで前へ



●【手配りピラ】大阪市の住民サービスはよくなっていきます!!



●【号外】維新プレス 都構想反対派のデマが多発しています



●【号外】維新プレス 都構想で大阪の住民サービスはよくなっていきます!!



●【号外】維新プレス 都構想が実現すればムダがなくなり住民サービスが向上



●【号外】維新プレス 都構想の意義について



●【号外】維新プレス 都構想反対派のデマが多発しています



●【号外】関西公明ジャーナル 公明党は都構想に賛成です

府議会・大阪市会における大阪「都構想」の「協定書」議決に抗議する！ 「大阪市廃止・解体」に再びノーの審判を！

2020年9月4日
明るい民主大阪府政をつくる会
事務局長 荒田 功
大阪市をよくする会
事務局長 福井 朗

大阪府議会(8月28日)、大阪市会(9月3日)は、大阪市を廃止し4つの「特別区」に解体する「協定書」を議決しました。この結果、60日以内に大阪市の廃止・分割を問う「住民投票」が再び行われることになります。

私たちは7月30日、新型コロナ感染が再び拡大するもとで、大阪府、大阪市に対して、医療体制の充実、少人数学級の実施、公立病院や保健所の機能の充実と人員体制の拡充を求めてきました。さらに「大阪市の廃止する協定書の採決を止め、コロナ対策に全力を!」の陳情署名44,008筆を大阪市会に提出しました。大阪では新型コロナ感染拡大による死者が8月には62人にのぼり、いのちが脅かされているなか、「協定書」の議決を強行した維新の会と公明党、一部の自民党府議に対して、満身の怒りをもって抗議するものです。

住民サービスは必ず低下する

大阪市を4つの特別区に分割すればスケールメリットがなくなり必ず経費が増大します。法定協議会に出された資料には新庁舎建設を先送りしても初期コスト241億円に加え、毎年30億円のランニングコストという無駄な経費が必要になります。さらに、職員増は少なく見積もっても年21億円～26億円の支出増です。一方、特別区の一般財源は大阪府に多く吸い上げられるため3分の1に縮小し、大阪府から「お小遣い(調整交付金)」をもらう従属団体となってしまいます。しかも、国からの財源の地方交付税は特別区に必要な年額を約200億円下回ってしか交付されないため収入減は確実です。その結果、住民サービスの切り捨てが起こります。

住民に説明が出来ない中で、「住民投票」を実施することは法の主旨に反し、民主主義を否定するもの

議決された「協定書」は、自治体の体をなしていない「合同庁舎」、災害対策をも困難にするバラバラの職員配置など、前回案以上にひどい内容です。それを糊塗するための新たなゴマカシが行われています。

それは4つの特別区に分割した際の財政シミュレーションです。当初のシミュレーションは、コロナ禍以前のもので「使い物にならない」との批判があったことから、8月11日に「更新版」が出されました。

その内容は、①コロナによる支出・税収の動向は「試算は現時点で困難」だとしてコロナ禍の影響を反映せず、②大阪メトロは昨年の黒字から今年第1四半期が赤字なのに、昨年の数字を使って納入金などが年71億円などと前のシミュレーションよりも増額する、③市営プール・スポーツセンター・老人福祉センターなどの廃止・削減による「改革効果」を盛り込むなど、「住民サービス維持」がまったくのウソであることが判明しています。これで「大阪市の廃止しても収支不足は生じない」というのは、市民を騙すものです。正しい情報を市民に提供する義務を持つ府・大阪市の責任は重大です。

「大都市特別区設置法」は、「協定書の内容について分かりやすい説明」を義務付けています。5年前には39回開催した住民説明会が、今度は8回しか開催しないなど、住民に対する説明はまったく不十分です。

130年の歴史をもつ大阪市の廃止を問う「住民投票」がこのように市民の権利である「情報開示」「住民参加」のいずれも阻害されるなかで実施されることは民主主義の否定と言わなければなりません。

大阪の未来は私たちの手で

維新は大阪「都構想」で「大阪の成長をスピードアップ」と言いますが、成長の中身をカジノ・IRやインバウンドの増加としています。これらはコロナ禍によってことごとく見直しが求められるビジョンです。

私たちがポスト・コロナを展望した時、これらのビジョンからの大転換が求められます。今、必要なことはPCR検査の抜本的拡充など、感染拡大を収束させる手段を強化することです。そして公務公共職場を中心に、人も予算も投入すべきではないでしょうか。子や孫に安心して住める大阪を届けたいとの願いを実現するために、私たちが提起した「なすべきは『大阪市廃止＝都構想』の「住民投票」ではなく、いのちと暮らしを最優先した明日の大阪への転換です」(7月30日)による議論をよびかけます。

大阪の未来は私たちの手でつくる。この決意を固め、来たる「住民投票」で必ず勝利し、再び大阪「都構想」ノーの審判を下すため、全力でたたかおうではありませんか。みなさん、一緒に頑張りましょう。

住民投票の折り返し点にあたって

情勢と論戦の特徴、両会の今後の活動について(アピール)

2020年10月21日
明るい民主大阪府政をつくる会
事務局長 荒田 功
大阪市をよくする会
事務局長 福井 朗

はじめに

10月12日に告示された「住民投票」は投票日まであと10日となり、折り返し点を迎えました。「大阪市のよくする会」と「明るい民主大阪府政をつくる会」は、現在の状況と「論戦」をどう見るか、さらにまた、勝利への展望がどこにあるかを明らかにし、逆転勝利をつかむ活動を、すべての構成員と「大阪市なくすな!」の一点で共同するすべての市民のみなさんに訴えるものです。

1. 序盤の様相について

①維新の会と公明党は大阪市民を欺いている

今回の住民投票で維新陣営は、「都構想」賛成に回った公明党とともに、「大阪市役所ぐるみ」ともいえる行政の私物化を行っています。大阪市廃止＝「都構想」に反対する意見や批判をすべて「デマ」と称して封殺し、「投票公報」では協定書にも書かれていない「さらに住民サービスを充実」(維新も公明も)などと記載し、一貫して大阪市民を欺こうとしています。また、他市からの議員・運動員を動員し、何が何でも「数の力」で押し通そうと必死です。私たちは、このことをいささかも軽く見ることはできません。

しかし同時に、維新の会の「おごり」は、大きな矛盾と反発に直面しています。公明党の4つの要求を取り入れた今回の協定書には「住民サービスの拡充」を書き込むことは出来ませんでした。「特別区設置時には維持」と書かれていますが、その後は「維持に努める」との「努力目標」があるだけです。

テレビ討論で「住民サービス」問題が指摘されると、公明党議員は論点をすり替え、大阪市廃止＝「都構想」に反対する共産党への攻撃でかわそうとしています。これは、前回から態度を180度変えた公明党への批判が強いことのあらわれです。

公明党支持層ではなお「反対多数」といわれています。その引き締めのために、10月18日には山口代表を大阪入りさせました。街頭演説には「三色旗」と「さよなら公明党」ボードをかかげた創価学会員の方が抗議の意思を示していました。

②目に余る維新の会の市政私物化

さらに、「市役所ぐるみ」の問題では、維新の会のビ

ラに「デマ」に対して「公平な立場で」「大阪市の職員がいていねいにお答えいたします」と、「副首都推進局」の電話番号を掲載して配布しています。

「よくする会」「明るい会」両会で副首都推進局に経緯をただし、2度にわたる記者会見をおこない、メディアも「市役所としての逸脱を批判」ととりあげています。これに対して松井大阪市長は「問題ない」と一蹴し、また、「都構想推進が大阪市の立場」と開き直っています。大阪市当局が、住民投票の中立性・公平性を築く責任と義務を放棄していることに強く抗議するものです。

③「よくする会」「明るい会」の奮闘

「よくする会」「明るい会」両会は、大阪市廃止＝「都構想」を判断するための必要な情報が圧倒的に不足している中で、市民に正確な情報を伝える「住民投票まるわかりパンフ」(140万部)の配布と、連日100カ所での「日刊つくろう未来ビラ」配布などに全力でとりにくんでいます。

「まるわかりパンフを知りたいに配りたい」「店に置くから10枚チラシが欲しい」などの声がかかっています。(城東区)また、「税金を使った大阪市のパンフレットは推進派の主張だけで不公平」という男性が街頭で募金(淀川区)などの経験も広がっています。

当初は「圧勝」をもくろんでいた維新の会。その思惑を崩し、「大阪市の廃止するのか、活かすのか」、市民を二分するたたかいに持ち込んでいることは、大阪市民の良識と両会の全力をあげた奮闘、共同する市民諸団体の努力によるものです。

2. 論戦の特徴と3つの焦点

①「大阪市の廃止か、それとも

130年の歴史をもつ大阪市の存続か」

松井大阪市長らは、昨年のダブル選挙まで叫んでいた「大阪市の廃止はウソ」とは、いえなくなっています。私たちは、今回の住民投票は「大阪都にするかどうか」でなく、「大阪市の廃止するかどうか」の選択であることをさらに広げます。

②「権限・財源を奪われた中で住民サービス切り捨てか、大阪市の力を生かし拡充か」

維新の「住民投票公報」では、にわかに「住民サー

ビスの充実へ!!大阪の未来を守る!」と打ち出しました。しかし、それができるのは大阪市を残し、活かしてこそです。何よりも、大阪市を廃止し、「特別区」にしたら、その財源は「府」に吸い上げられ、コストは1,300億円(15年)かかるうえ、国の交付税も200億円減らされます。「充実」の財源はできません。

③「コロナ禍でもなおカジノ、インバウンド頼みを続けるのか、命と福祉、暮らし第一へ転換するのか」

また「公報」では、コロナ禍で頼みの綱の「カジノ」(IR)誘致も破たんし、「大阪の成長を止めるな」のスローガンも消え、「未来」が語れなくなっています。「今回の協定書はバージョンアップ」ともいいますが、「住民サービス」問題に加え、まともな自治体とはいえない「中之島合同庁舎」案をだすなど、破たんあらわです。

維新は、これをごまかすため、「二重行政の過去に戻すな」とか、「府市一体で成長してきた」「コロナ対策もバーチャル大阪都」など虚構の宣伝をくりひろげています。しかし、旧WTCビルなどは、一重でも二重でも誤った政策であり、逆にコロナ対策をはじめ医療、福祉などは二重にも三重にも必要なものです。一つ一つ真実の情報を市民に届け、ともに打ち破っていきます。大阪市を残し、大きな財源を市民のために活かしてこそ、「医療・保健所の体制整備」「子ども医療費の窓口負担ゼロ」「20人学級」「介護保険料と国民健康保険料の値下げ」「中小企業支援の予算を倍増」などができることを堂々と打ち出していきます。

3. 勝利をつかむ展望―広範な市民の良識と共同にこそ

①市民の良識の力が大阪を守る

勝利の展望は、何よりも130年の歴史をもつ「大阪市をなくしてはならない」という大阪市民の熱い思いと良識にあります。維新の会や公明党側の矛盾は広く大きいものです。真実を一つ一つ伝えるなら必ず打ち破れます。そのために幅広い市民との共同と、「よくする会」「明るい会」両会の全構成員の総決起こそが最大のカギを握ります。

「市民100万人対話」を必ず成功させましょう。「まだ決めていない」という市民、「情報不足で悩んでいる」市民、「なんとなく賛成」という市民の方々すべてに働きかけ、「反対」の輪を広げに広げましょう。

②好評「まるわかりパンフ」やテレビ討論も注目を！

「まるわかりパンフ」が好評です。真剣に考えてもら

ために一人でも多くの方に手渡してください。両会発行の機関紙に加えて、新たに著名7氏の「大阪市をなくすな」コメントと「住民サービスの充実へ!!大阪の未来をひらく。それは『大阪市』を残し、活かしてこそ」と私たちのプランを描いたビラを作成します。

最終盤、連日のように開かれ、その対比がくっきりするテレビ討論、公開討論を注目してください。お茶の間でも大きな話題にしていきます。

平日は毎日、市内100カ所で新しいビラを配布する「日刊つくろう未来」作戦を最後までやりとげましょう。駅前や路上での対話も積極的に取り組みます。そして、女性層、無党派層への働きかけを意識し、「スーパー前」「商店街」「公園」などの宣伝・対話を重視します。SNSでの発信、住民投票「特設サイト」など「ネット作戦」をさらに広げます。

③「明るい会」「よくする会」団体・地域活動者会議の開催

10月26日(月)午前10時から、エル・おおさか大ホール(エル・シアター)で両会の決起集会を開きます。ラスト1週間の行動提起と住民投票勝利への決意を固めます。

④私たちは大阪市を廃止させない！『みおつくし大作戦』

最終盤にあたって、100万人対話運動を軸に反対の世論を広げるため、平日の休暇行動を提起し最大の行動をつくります。

おわりに

大阪の新たな歴史をつくるたたかいに勝利しましょう!大阪を愛する市民のみなさんと、このたたかいを激励・支援していただいているすべてのみなさんともに、大阪市の廃止・分割を阻止し、住民本位の大阪をつくろうではありませんか。「よくする会」「明るい会」のすべての構成員のみなさんの総決起をよびかけるものです。

以上

11・1「大阪市廃止・特別区設置」住民投票の結果について(声明)

「市民の良識」が大阪市廃止を再び否決！明日の大阪をつくる希望の光へ

11月1日に投開票が行われた「大阪市廃止・特別区設置」の是非を問う住民投票は、約1万7千票の差で「反対」が多数となり、大阪市の存続が決まり制度案は廃案となりました。

この間、長きにわたり大阪市廃止＝「都構想」反対のたたかいに大奮闘された団体・地域連絡会のみなさん、立場を超えて大阪市の存続のために活動されたすべてのみなさんに心から感謝いたします。同時に、私たち「よくする会」「明るい会」のよびかけに共鳴をいただいたことに心から敬意を表します。

今回の勝利は、大阪市の存続か廃止かという将来の命運を決める問題について正面から向き合い、大阪市の未来を守り活かそうと考えた市民の良識の力が発揮された結果です。

今年の冬から始まったコロナ禍のもとで、明日の暮らしに不安を感じながらも、多くの市民が大阪市の未来を考えたことは、明日の大阪をつくる希望の光となるでしょう。

檄

大阪市廃止・分割に反対し、住民投票をたたかうすべてのみなさんへ市民の良識を信じて、あと5人、10人の「対話」を広げ勝利しよう！

11月1日の住民投票まであと5日となりました。「よくする会」のみなさん、「明るい会」のみなさん、そしてコロナ禍にも関わらず、全国各地から支援をいただいているすべてのみなさんに心から敬意を表します。

猛暑の中、宣伝カーを走らせ、ビラをまき、マイクを握り、路地裏での対話を重ねて「大阪市をなくしたらあかん!」と訴えてきました。幾度となく両会合同会議を開き、団体と地域の決起をつくりだしてきました。そして、10月1日に開催した「大阪市をなくすな!心はひとつネットワーク集会」は、オール大阪の連帯と共同を確かにし、決意を固めるものになりました。

みなさんの頑張りの数だけドラマが生まれ、草の根からの運動や共同が広がっています。1か月前の調査では大阪「都構想」の賛成が多数でしたが、みなさんの大奮闘によって賛否伯仲の状況に追いついています。

これからの5日間。大阪市の命運を決める最後の勝負の5日間です。私たちの運動と「論戦」が大阪市民の中に浸透しつつあります。これに対して維新陣営は「ウソ」と「ゴマ

私たちは住民投票によってもたらされた「対立と分断」を乗り越え、今回、賛成票を投じた人々の要求も受け止め、市民が丸丸となって暮らしや福祉、景気回復、コロナ対策など日々の生活の安心を実現するために力を尽くすものです。

一方で、「都構想」推進に偏った「説明パンフ」や住民説明会など住民投票の中立・公正性が損なわれたことについては、投票の結果だけでなく、そのプロセスも検証されなくてはなりません。さらに、反対派の意見を「デマ」と誹謗・中傷し続けた維新の会の言動も批判されるべきと考えます。

開票後の記者会見で松井氏や吉村氏は「都構想」の再挑戦はないと言明しましたが、カジノ(IR)や大規模開発など課題は山積みです。

住民投票は終わりましたが、これから新たなたたかいが始まります。私たちは住民のみなさんと手を携え、「暮らし最優先」の大阪を実現するために引き続き頑張ることを決意するものです。

以上

大阪市廃止・分割に反対し、住民投票をたたかうすべてのみなさんへ市民の良識を信じて、あと5人、10人の「対話」を広げ勝利しよう！

カシ」で市民を欺き続けています。対話をすれば「反対」になる。事実を知れば「反対」となる100万人対話運動を緩めず、投票日の最後までやり抜くことを訴えます。

「みおつくし大作戦」は、これまでの行動量を倍加し、最後まで勢いを増すための提起です。休暇行動を積極的に組織しましょう。投票日当日も投票所前宣伝や宣伝カー運行、棄権防止活動など最大の行動にむけて力を尽くしてください。また、支援カンパもお願いします。

なによりも、両会の各団体や地域連絡会のすべての仲間がこの歴史的たたかいに参加することが大切です。一人ひとりの構成員を信頼して訴えましょう。

私たちが勝利し、大阪市の廃止を阻止するためには、事実を市民に伝え、投票所に足を運んでもらう以外にありません。維新を凌駕する最大の行動を作り出し、必ず勝利しましょう。新しい大阪へ、再生の道へ歩みだすために。

以上



朝日 2018年12月27日



毎日 2018年12月27日



毎日 2019年1月23日



産経 2019年2月9日



読売 2019年4月8日



毎日 2019年5月19日
読売 朝日 2019年5月21日



日経 2019年10月11日



毎日 2020年4月8日



毎日 2020年7月4日



日経 2020年8月1日



毎日 2020年8月7日



毎日 2020年8月8日

都構想 自民府連「反対」

府議会中絶波乱幕開け

府市が議会提出論戦へ
都構想をめぐる府議会
自民府連「反対」に決着

大阪府議会が17日、大阪都構想の府議会提出をめぐって、自民府連が反対を表明した。府議会では、都構想の賛否が争点となる。府議会では、都構想の賛否が争点となる。府議会では、都構想の賛否が争点となる。

大阪日日 2020年8月19日

大阪都構想案 府議会が可決

市議会は来月3日 住民投票へ加速

市議会は来月3日 住民投票へ加速

大阪府議会が17日、大阪都構想の府議会提出をめぐって、自民府連が反対を表明した。府議会では、都構想の賛否が争点となる。府議会では、都構想の賛否が争点となる。

朝日 2020年8月29日

大阪市広報紙 ≠ 都構想 広告

「表現不公平」修正相次ぐ

「表現不公平」修正相次ぐ

大阪市の広報紙が、都構想に関する広告と見なされ、表現が不公平と指摘されている。市当局は、表現を修正する方針を示している。

大阪都構想 今決めるの

市民コロナ優先を／説明丁寧に進派、反対票増

市民コロナ優先を／説明丁寧に進派、反対票増

大阪都構想の賛否が争点となる。市民はコロナ優先を重視し、説明が丁寧な進派に反対票が増えている。

読売 2020年9月5日

都構想賛成48% 反対34%

住民投票「関心」80%

都構想賛成48% 反対34%

住民投票「関心」80%

大阪都構想に関する世論調査の結果が発表された。賛成48%、反対34%、関心80%という結果が出た。

大阪都構想 事務局職員「賛成に誘導」

松井市長口頭注意

大阪都構想 事務局職員「賛成に誘導」

松井市長口頭注意

大阪都構想の事務局職員が、賛成に誘導していると指摘された。松井市長は口頭で注意した。

読売 2020年9月30日

都構想 住民投票告示

大阪市廃止の是非問う

都構想 住民投票告示

大阪市廃止の是非問う

大阪都構想の住民投票が告示された。大阪市廃止の是非が問われる。

大阪日日 2020年10月13日

「制度理解深まった」

「まるでマルチ商法」

「制度理解深まった」

「まるでマルチ商法」

大阪都構想に関する説明会が行われた。参加者は「制度理解が深まった」と感じたが、「まるでマルチ商法」とも感じた。

市廃止 許さず

都構想反対の市民 御堂筋をパレード

市廃止 許さず

都構想反対の市民 御堂筋をパレード

大阪都構想に反対する市民が、御堂筋をパレードした。市廃止を許さないと訴えた。

大阪日日 2020年10月11日

公明代表「賛成」演説

大蔵入り 維新と連携前面

公明代表「賛成」演説

大蔵入り 維新と連携前面

公明党の代表が、大阪都構想に賛成の演説を行った。維新と連携を前面に出した。

読売 2020年10月19日

市4分割コスト218億円増

大阪市財政局が試算 都構想巡り

都構想賛成39% 反対41%

賛否伯仲 反対増える

朝日 2020年10月27日

大阪市財政局試算撤回

4分割コスト増 市長、厳重注意で 都構想巡り

朝日 2020年10月30日

都構想 再び反対

僅差で大阪市存続 住民投票 松井氏「政界引退」

都市戦略 幕引き許されぬ




産経 2020年11月2日

悩んで 再び「NO」

「解体されたら戻らない」熱意感じた

「心臓バクバク」超激論 投票率62.35% 前回を下回る



賛成	反対	無回答
39%	41%	20%

朝日 2020年11月2日

10年越し 都構想終焉

松井氏「力不足」 吉村氏「再挑戦ない」

公明 支持者まとめきれず 再び「NO」 反対派安堵





産経 2020年11月2日

大阪市の事務・財源 府に移管の条例検討

都構想「簡易版」波紋

維新「三重行政防止が民意」 自民 反発 公明は様子見



朝日 2020年11月11日

日経 2020年11月6日

「広域行政一元化へ条例」

大阪市長、総合区も検討

「広域行政一元化」

市から府へ 知事「都構想賛成派の声尊重」



毎日 2020年11月7日

編集後記

「マルチ商法まがい」とまで言われた大阪市の住民説明会など、行政が「都構想」の利点ばかりを宣伝することに疑問を感じた市民が、『都構想』には賛成だが、反対している人の意見も聞きたい」「メリット・デメリット両方聞きたい」と「よくする会」や「明るい会」の人たちが宣伝していると、情報を求めに来る人の姿が各地で相次ぎました。

両会の事務所には、「大阪市をなくしたくない。何かできないか」、「ビラをまきたい」と若者が相次いで来所。暑い時期からシャツに汗をにじませて一軒一軒ていねいにビラをまき、「また来ます」。

「まるわかりパンフ」をみた市民から電話がかかり、「親の介護などで時間がとれないが維新に腹が立つ。なんでもする」と。地域の連絡会事務所を紹介し、時間の都合のつく範囲で行動に参加してもらうこともありました。

世論調査にも現れたように、市民の意識の変化、運動の変化、共同の広がりを実感した住民投票でした。

住民投票の勝利は2015年5月に続き2度目。5年前にも記録集を発行しており、今回は「2号目」です。

宣伝物やまとめの記事、年表、新聞記事、各界からのコメントなど、紙幅の都合もありましたが、できるだけ記録集に反映するようにしました。

11月1日、住民投票で大阪市反対が多数となり、すべての市民が力を合わせて、よりよい大阪への取り組みをスタートさせようとした矢先でした。投票日の4日後、松井氏らは、大阪市の広域行政の権限と財源を府に集中する「広域一元化」や大阪市を8つに分割する「総合区」を、条例で目指すと表明しました。

住民投票で示された民意に真っ向から背くものです。しかも、新型コロナ「第3波」の感染が急拡大している時期。「維新は次の看板政策を掲げて党の求心力を保つ狙いがある」（「日経」12月7日付）のなら、維新の会には府民や市民のくらしのことなど、全く見えていないのではと思ってしまうます。

新代表を選ぶ維新の会全体会議(11月21日)で、松井、吉村両氏は新型コロナ対策にはまったく触れずじまい。吉村氏は「ワン大阪をめざす。3度目の挑戦はしないといったが、『都構想』(住民投票)は手段ですから。手段はこれからも残る」と言い放ちました。

「広域一元化許すな」、「制度いじりよりコロナ対策を」——。各地域では、すでに取り組みが始まっています。

維新政治に終止符を打ち、次の記録集は、「維新政治に引導を渡した闘いの記録集」になるように——。

(明るい会・よくする会政策宣伝委員会)